

第二次佐久市総合計画  
前期基本計画

平成 3 0 年度進行管理報告書

## 1 第二次佐久市総合計画の構成

### (1) 基本構想（平成29年度～令和8年度）

時代の潮流や本市の特徴を踏まえ、10年先の将来に向けてのまちづくりの基本理念と目指すべき将来都市像を明らかにし、それを実現するための施策の大綱を定めた長期的なまちづくりの指針となるもの。

＝佐久市の将来都市像＝

**「快適健康都市 佐久」**

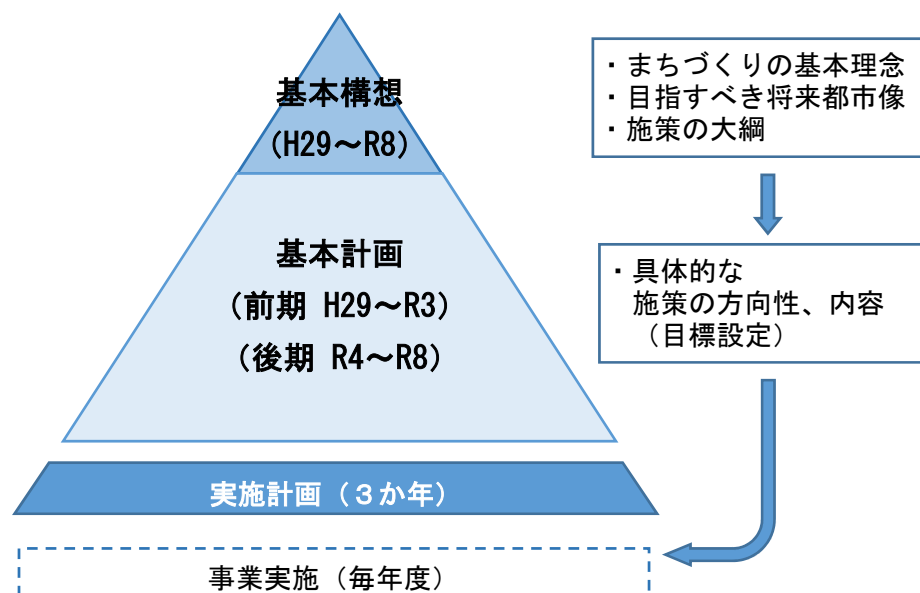
**～希望をかなえ 選ばれるまちを目指して～**

### (2) 基本計画（10年間、5年間経過後に見直し）

基本構想の施策の大綱に基づき、その基本理念と将来都市像を実現するために、実施すべき具体的な施策の方向性と内容を示した中期的な計画。

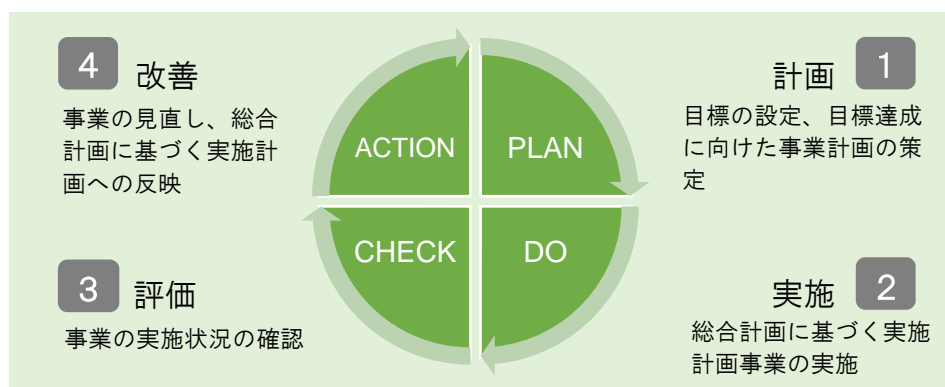
社会経済情勢の変化や新たな市民ニーズに対応するため、5年経過後に後期の基本計画を策定。

○前期基本計画(平成29年度～令和3年度)



## 2 前期基本計画の進行管理

前期基本計画は、5つの重点プロジェクトにおけるプロジェクト目標と、施策毎の施策目標を設定しており、これら施策等の進捗状況に対して進捗状況評価を実施し、その結果を来年度以降の施策へ反映する。



## 3 進行管理方法

### (1) プロジェクト目標

前期基本計画では将来都市像の実現を目指し、施策横断的に取り組む5つの重点プロジェクトを掲げ、各重点プロジェクトに成果指標としてプロジェクト目標を設定している。

<b>1 重点プロジェクト「安定して働き続けることができるまち」</b>	
プロジェクト目標：市内事業所の従業者数【経済センサス】	
現状値 (H 2 6)	目標値 (R 2)
40, 203人	41, 500人
<b>2 重点プロジェクト「多くの人に選ばれることができるまち」</b>	
プロジェクト目標：人口の社会動態 (計画期間の累計)【長野県毎月人口異動調査】	
現状値	目標値 (H 2 9～R 3 累計)
—	1, 000人
<b>3 重点プロジェクト「安心して結婚し、子どもを生き育てることができるまち」</b>	
プロジェクト目標：合計特殊出生率【佐久市調】	
現状値 (H 2 7)	目標値 (R 3)
1. 52	1. 74
<b>4 重点プロジェクト「安心して暮らし続けることができるまち」</b>	
プロジェクト目標：「佐久市は住みやすいと」回答する人の割合【市民アンケート】	
現状値 (H 2 8)	目標値 (R 3)
78. 7%	80%

## 5 重点プロジェクト「健やかに暮らし続けることができるまち」

プロジェクト目標：健康寿命【佐久市調】

現状値 (H26)	目標値 (R2)
男性79.89歳 女性84.32歳	男性 延伸 女性 延伸

### (2) プロジェクト目標の進捗状況評価

プロジェクトの進捗状況を踏まえ、各所管課が総合分析、今後の方針を示す。数値目標については実績値が基準値からどの程度進展したかを、目安値と比較して進捗率を計算し、次のとおり評価する。

順調	概ね順調	努力を要する	未公表	実績値なし
目安値以上	80%以上 100%未満の進捗	80%未満の進捗	統計調査結果が未公表のため、現時点では実績値が把握できない	・統計調査の実施がなく、今後も実績値が把握できない ・目安値・実績値がともに0の場合

※目安値：令和3年度の目標達成に向けて、指標が順調に推移しているかどうかの目安を表す値。

多くの目標において、基準値から目標値に向かって均等に推移することを標準パターンとしています。ただし、均等な推移が見込めない等これによりがたい場合は、その指標の特性を踏まえて目安値を設定しています。

※進捗率＝（実績値－基準値）／（目安値－基準値）で算出

### (3) 施策目標

基本計画における全49施策毎に市民アンケートによる市民満足度指数を目標値として設定している。第二次佐久市総合計画の基本理念である「市民の実感から始まり、実感に結びつくまちづくり」に基づき市民の満足度を目標とした。

例：施策名「学校教育」



※市民アンケートによる満足度指数

市内に在住する16歳以上の男女1,000人を対象に調査したもの。「満足」を5点、「やや満足」を4点、「どちらでもない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点として平均点を集計。

#### (4) 施策目標の進捗状況評価

総合計画の基本計画に示された49の施策への取組による実績・成果の達成状況と、施策目標を達成するための今後の取組について検討する。

市の行政評価システムの一部（施策評価）として実施し、各所管課がそれぞれの施策について、施策の進捗状況、今後の方針等を示す。

#### 4 総合計画審議会での審議について

平成30年6月18日付けの「前期基本計画における施策の進捗状況や取組に関する事項」について総合計画審議会へ意見を求める旨の諮問に基づき、同計画が定めるプロジェクト目標と49の施策目標の進捗状況、今後の取組について意見をいただき、進行管理結果に審議会意見として付記する。

審議の円滑化のため、3部会にて審議を実施

部会名	第二次佐久市総合計画前期基本計画担当箇所(主な分野)
第1部会	第1章(教育、文化、生涯学習)
	第6章(防災、交通安全、防犯)
	第7章(協働、行財政、交流分野)
第2部会	第2章(交通、都市基盤整備)
	第3章(農業、商工業、観光、雇用)
第3部会	第4章(保健、福祉、子育て支援)
	第5章(自然環境、生活環境、上下水道)

## 重点プロジェクト 1 「安定して働き続けることができるまち」

市民が安心して暮らしていくためには、仕事があり、経済的に安定していることが重要であるため、仕事の創出、雇用の創出に取り組みます。  
 ⇒佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標①に該当

### 数値目標の進捗状況

指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H28 (参考値)	H29	H30	R1	R2 (目標値)	R3	単位
市内事業所の従業者数 【経済センサス】	目安値	/	40,560	—	—	41,100	41,500	経済センサス 未実施年	人
	実績値	40,203	40,327	—	—				
	進捗区分	/	努力を要する	実績値なし	実績値なし				

**総合分析**

重点プロジェクトの数値目標は国の基幹統計調査に基づき設定しています。平成30年度は経済センサスの調査が行われていないため、実績値を把握することができないことから、「実績値なし」となります。

「市内事業所の従業者数」は、平成28年度において目安値を下回ったものの、基準値(H26)の40,203人から124人増加しています。企業誘致や企業の経営基盤強化による雇用の確保など、安心できる暮らしを支えるための「しごと」の確保に向けた取組を引き続き推進することが必要です。

H28実績値を産業大分類別にみると、「製造業」が9,114人(全産業の22.6%)と最も多く、次いで「卸売業、小売業」が7,704人(同19.1%)、「医療、福祉」が6,783人(同16.8%)となっており、上位3産業で全体の5割以上を占めています。

なお、基準値(H26)と産業別の比較をすると、「卸売業、小売業」△294人、「建設業」△257人、「製造業」△200人の順で減少数が多くなっている一方、「医療、福祉」は884人増となっており、「医療、福祉」分野の従業者数が大きく増加しています。佐久市経済の持続的な発展のために、減少傾向が見られる分野の現状の打開を図るとともに、本市の強みである「健康長寿」を生かした産業への支援により、しごとの創出の加速化を図ることが重要と考えます。  
 ※平成28年度実績値は、平成28年度経済センサス活動調査の結果から記載しています。

**今後の方針**

順調に推進している「保健・医療のつばさ事業」と併せて、令和元年度からの新規事業である「福祉・介護のつばさ事業」を推進することで、医療・福祉の担い手不足解消を図り、持続的に「健康長寿」のまちとしての基盤を保持するとともに、しごとの創出の加速化を図ります。また、その他新規事業として「臼田工業団地」の整備や「テレワーク施設(サテライトオフィス含む。)」の立地促進、女性・若者を中心とした創業支援を推進することで、雇用創出力の向上を図ります。

**審議会意見**

- ・医療・介護職の従業員数が増加しているが、重労働であるため、やりがい・使命感を持って働き続けられるよう行政からも支援されたい。
- ・介護業界の人材不足に関して、介護福祉士等の養成が急務となるため、臼田の小学校統合にあたって廃校となる校舎を養成のための専門学校として活用するなど有効利用を検討されたい。
- ・テレワークに関する制度化が進んだことで、こういった働き方に関心をもつ企業が今後増加していくと思う。テレワーク拠点施設としての小学校跡地の活用なども検討されたい。

## 重点プロジェクト 2 「多くの人に選ばれることができるまち」

人口減少を抑制していくためには、人口の流入促進と流出抑制を図ることが重要であるため、佐久市への新たな人の流れづくりに取り組みます。  
 ⇒佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標②に該当

### 数値目標の進捗状況

指標名	年度別 評価	－ (基準値)	H29	H30	R1	R2	R3 (目標値)	単位
人口の社会増 (計画期間の累計) 【長野県毎月人口異動調査】	目安値		200	400	600	800	1,000	人
	実績値	－	249	575				
	進捗区分		順調	順調				

総合分析	<p>重点プロジェクトの数値目標である「人口の社会増(転入者数－転出者数)」は、H30は326人の社会増となり、目安値を上回り、順調に推移しています。またH29に比べ、増加幅も拡大しています。</p> <p>(H30：転入者数 3,678人 － 転出者数 3,352人 ＝ 326人)                  (H29：転入者数 3,606人 － 転出者数 3,357人 ＝ 249人)                  (H28：転入者数 3,499人 － 転出者数 3,338人 ＝ 161人)</p> <p>佐久市に「住んでみたい」「住み続けたい」と感じてもらうためにも、高速交通網の充実や医療福祉の充実等の佐久市の卓越性を国内外へ発信する等、多くの人が集う魅力あふれるまちづくりに資する取組の推進が重要です。</p>
------	---

今後の方針	<p>新たな企業等の立地件数は、目安値の達成には至らなかったものの、平成30年度は1件の誘致に成功しています。また、佐久市シテプロモーション事業や無料職業紹介事業(さくさくワーク)を引き続き推進し、令和元年度は新規事業として県が窓口となり進める「佐久市UIJターン就業・創業移住支援事業」に取り組むなど、今後も新しい人の流れづくりに向け市内外の連携を図りながら各施策を進めていきます。</p>
-------	--

審議会 意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏等における学生向け市内企業のPRイベントについて、参加団体数は増加傾向にある一方で、イベント時には中小企業にも学生の関心が集まるものの、早い段階での内定辞退も顕著で人材の確保が厳しいという現状があるため、官民協働で対策を検討されたい。</li> <li>・都会暮らしに憧れ上京した場合、そのまま都会の企業へ就職するケースが多く見られるが、佐久へ帰ってくる若者も一定数いる中で近年は地元志向の若者(特に男性)も増加傾向にあると感じるため、引き続きPR活動に取り組みながら、UIJターン就職の促進を進められたい。</li> </ul>
-----------	--

## 重点プロジェクト 3 「安心して結婚し、子どもを生き育てることができるまち」

人口減少を抑制していくためには、たくさんの子どもが生まれることが重要であるため、市民が、安心して結婚し、子どもを生き育てたいという希望を実現できる社会環境の醸成に取り組みます。  
 ⇒佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標③に該当

数値目標の進捗状況									
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H28 (参考値)	H29	H30	R1	R2	R3 (目標値)	単位
合計特殊出生率 【健康づくり推進課調】	目安値	/	1.63	1.65	1.67	1.69	1.72	1.74	-
	実績値	1.59	1.55	1.61	-				
	進捗区分	/	努力を要する	努力を要する	未公表				
総合分析	<p>重点プロジェクトの数値目標は国の基幹統計調査に基づき算出をしています。平成30年度は令和元年10月頃に把握が可能となる予定で、実績値を把握することができないことから、「未公表」となります。</p> <p>「合計特殊出生率」は、平成29年度実績値は目安値を下回る結果となったものの、前年度と比較し0.06ポイント上昇しました。年齢階級別女子人口を前年度と比較すると、出産可能年齢層(15～49歳)は全体的に減少しています。</p> <p>一方、出生数は増加しており、特に「25～29歳」「30～34歳」の出生率が前年度と比較し、増加の割合が大きくなっています。</p>								
今後の方針	<p>第3子以降の出生数について、今後予定されている保育料無償化を最大限生かしながら、関連施策を強力に推進する必要があります。また、出生率の向上には、結婚、出産、子育て、教育、住環境等、幅広い分野での対策が必要となります。このことから、健康づくり、福祉、子育て支援、教育、まちづくり等の関係分野で連携を深め、これまでの取組を着実に推進するとともに、令和元年度からは、月1回実施していた妊婦さんの歯の教室での歯科健診を、市内歯科医院等での歯科健診への移行や、産後の初期段階での健診の充実による産後鬱のケアの推進、ニーズが増加する未満児保育所の整備促進等、子育て支援の更なる充実を図ります。</p>								
審議会意見	<p>・婚活イベントについて、イベント参加者を確保し続けられるよう、再婚希望者にターゲットを拡げるなどの工夫を取り入れながら企画推進されたい。</p>								



## 重点プロジェクト 4 「安心して暮らし続けることができるまち」

市民が生活やライフスタイルの素晴らしさを実感し、生きがい豊かに暮らしていくためには、それを支える「まち」が重要であるため、活力ある「まち」の創生に取り組みます。  
⇒佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標④に該当

### 数値目標の進捗状況

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H28 (参考値)	H29	H30	R1	R2	R3 (目標値)	単位
「佐久市は住みやすい」と回答する人の割合 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		77.0	—	79.0	80.0	80.0	80.0	%
	実績値	75.1	78.7	—	75.4				
	進捗区分		順調	実績値なし	努力を要する				

#### 総合分析

重点プロジェクトの数値目標は、満足度・重要度市民アンケートに基づき設定しています。  
『「佐久市は住みやすい」と回答する人の割合』について、平成30年度実績値に基づく進捗区分を見ると「努力を要する」となっています。施策と住みやすさの相関を見ると、「住みやすい」と回答した人の評価が高い施策として「消防・救急」「高速交通ネットワーク」「医療」が上位を占めている一方で、「住みにくい」と回答した人の評価が低い施策としては「就労・雇用」「医療保険・国民年金」「地域交通ネットワーク」が上位を占める結果となりました。市の卓越性として、高速交通網の充実や医療福祉の充実、健康長寿などに代表される「暮らしやすさ」が挙げられますが、今後もこれらの強みや特徴を磨き上げ、十分に生かした施策を推進するだけでなく、現役世代の豊かな生活を保障できるような施策にも注力し多くの人に選ばれるまちにすることが重要です。  
※満足度・重要度市民アンケートは隔年実施のため、奇数年度は「実績値なし」となります。  
※満足度は、「満足」と「やや満足」の合算値となります。

#### 今後の方針

男女ともに健康寿命は前年度よりも延伸、目安値を上回る結果となりました。佐久市立国保浅間総合病院の整備と経営基盤強化、佐久総合病院本院施設等整備に対する支援、老人福祉施設の整備・運営など、医療・福祉の確かな体制の構築に向けた取組を着実に推進した結果と考えられることから、健康長寿という特性をさらに実感してもらえるよう、引き続き事業の推進を図ります。  
このほか、令和元年度からは、佐久平駅南土地地区画整理事業(樋橋地区)への支援による新たな経済・生活拠点の形成や、公共無線LAN(Wi-Fi)環境の整備などによる災害に強いまちづくりを推進するなど、多くの市民が暮らしやすさを実感して安心して暮らし続けることができるまちづくりを推進していきます。

#### 審議会意見

・住みよいまちづくりに関して、「まち」エリアと比較すれば中山間地域の開発の優先度が下がってしまうことや人口減少に伴って市の財源が縮小していくことは理解できるが、市内には「まち」エリアよりも中山間エリアの方が圧倒的に多いため、中山間地域の整備は今後も大きな課題になることを踏まえ、施策の充実に努められたい。

## 重点プロジェクト 5 「健やかに暮らし続けることができるまち」

市民が健やかに暮らしていくためには、心身ともに健康であることが重要であるため、日常生活、地域社会、地域経済を支える市民の健康づくりに取り組みます。

### 数値目標の進捗状況

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H28	H29	H30	R1	R2	R3 (目標値)	単位
健康寿命の延伸 【高齢者福祉課調】	目安値		(延伸)	延伸	延伸	延伸	延伸	延伸	歳
	実績値	男 79.89	80.30	80.41	—				
		女 84.32	85.54	85.42	—				
進捗区分			順調	順調	未公表				

#### 総合分析

重点プロジェクトの数値目標は、市高齢者福祉課調に基づき設定しています。平成30年度実績値は、令和2年1月頃に把握が可能となるため、現時点では「未公表」となります。「健康寿命の延伸」は、平成29年度の実績値をみると順調に推移しており、健康づくりを推進する各事業が概ね順調に実施されているためと考えられます。

今後も運動習慣の定着や食生活の改善、健康への無関心層への動機付け等の健康づくり事業の実施など、市民一人ひとりの生活習慣の改善に向けた意識改革と行動変容を促進し、生涯にわたる健康づくりをライフステージに応じてきめ細かく推進していくことが重要です。

なお、女性の健康寿命の実績値について、平成28年度実績値と比較し平成29年度実績値は低下していますが、佐久市女性の平均寿命は88.66歳(H28)から88.45歳(H29)となる中、健康寿命の若干の低下とともに、不健康な期間も3.12年(H28)から3.03年(H29)に縮減されている状況も見受けられます。

#### 今後の方針

健康寿命を延伸するために、生活習慣見直しの勧奨をはじめとした全市民(若い世代を含む。)への啓発活動に継続して取り組むなど、健診受診率向上を目指した施策を推進します。さらに、健診受診後の保健指導をきめ細かく行うことによって、市民の健康意識の向上や糖尿病等の重症化予防を図ります。また、令和元年度からは、住民が主体となって実施する介護予防事業に重点的に取り組みます。

これらの健康づくり事業や介護予防事業等、各分野での取組をトータルで強化しつなぎ合わせることで、市民一人ひとりの健康意識を高め、行動変容につなげるとともに、官民が協働して市民が健康づくりに取り組みやすい環境を整備していきます。

#### 審議会 意見

・今後も引き続き施策の充実に努められたい。

# 第1章 生涯にわたり学び生きる力を育むまちづくり

価値観やライフスタイルが多様化し、学び方や働き方の選択肢が広がった現代社会において、将来を担う子ども達が確かな夢や希望を持つことができるよう、生涯にわたり、主体的・創造的に学び、生きる力を育むまちづくりを目指します。

人口減少や核家族化により、ひとや地域の絆が希薄となりつつある現代社会において、これまで育まれて来た地域文化を将来に向かって継承していくとともに、心の豊かさを育む生活文化、芸術文化を享受することのできるまちづくりを目指します。

## 1 将来を担うひとづくり

### 施策名 「幼児教育」 ※保育所関係施策は第4章「子育て支援・児童福祉」に記載されます

#### 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28)      目標値 (H33)</p> <p>3.21 → 3.25</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.32</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.13</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.04</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.21</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.32</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.13	平成26年	3.04	平成28年 (基準値)	3.21	平成30年	3.32
年度	満足度指数											
平成24年	3.13											
平成26年	3.04											
平成28年 (基準値)	3.21											
平成30年	3.32											
<p>目標設置根拠</p> <p>満足度指数は平成26年に下降したが、平成28年には0.17上昇した。これは平成27年に信州型やまほいく認定制度の認定を受け自然を生かした教育・保育の充実を図ったことや、平成28年度より第3子保育料の無料化を行ったことなどによるものと考えられる。</p> <p>今後も地域の自然を生かした教育、やまほいくの推進を図るなど、幼児教育の充実に努めることにより、上昇した満足度を維持するとともに5年間で0.04の上昇を目指す。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定こども園<sup>※</sup>の設置を検討する事業者に情報提供等支援を行い、平成31年4月に1園が認定こども園に移行しました(浅科幼稚園)。</li> <li>・<sup>※</sup>認定こども園:「就学前の子どもに幼児教育・保育を提供する機能」・「地域における子育て支援を行う機能」を備え、認定基準を満たし、都道府県知事から認定を受けた施設(幼稚園と保育園の両方の機能を持った施設)</li> <li>・私立幼稚園の運営に対して補助を実施しました。 実績:市内私立幼稚園6園</li> <li>・猛暑時における園児の健康を守るため、私立幼稚園の保育室への冷房設備設置事業に対する補助金制度を創設しました(令和元年度から3年間の補助)。</li> </ul>											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度から幼児教育と保育を一体的に進める子ども・子育て支援新制度がスタートしましたが、市内の私立幼稚園では、認定こども園に移行したのは1園となっており、制度の周知、情報提供などの支援を行う必要があります。</li> <li>・幼児教育無償化により、ニーズの多様化、事務の増大、手続きの煩雑化が予想されることから、子ども・子育て新制度への移行、連携の強化、円滑な事務手続き手法の構築が求められています。</li> </ul>											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内私立幼稚園の安定的な運営のため、幼児教育無償化後の事務手続きや子ども・子育て支援新制度移行に関する相談など支援をします。</li> <li>・市内私立幼稚園園長会との会議を開催し意見交換を行うなど、私立幼稚園と連携を図ることにより、子ども・子育て新制度への移行の支援を行うとともに、私立幼稚園の運営の支援をします。</li> <li>・私立幼稚園の保育室への冷房設備設置事業に対し補助を実施します。</li> </ul>											
<p>担当課</p>	<p>子育て支援課</p>											
<p>審議会意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私立幼稚園と連携をし、市民のニーズに合った子ども・子育て新制度への移行支援に取り組まれない。</li> </ul>											

# 施策名 「学校教育」

## 施策目標の進捗状況

<b>施策目標</b> (市民アンケートによる満足度指数) 現状値 (H28)      目標値 (H33) <b>3.16</b> → <b>3.18</b>	H30 満足度 指数 <b>3.27</b>	<b>市民アンケート満足度指数の推移</b> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.02</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.14</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.16</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.27</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.02	平成26年	3.14	平成28年 (基準値)	3.16	平成30年	3.27
年度	満足度指数											
平成24年	3.02											
平成26年	3.14											
平成28年 (基準値)	3.16											
平成30年	3.27											
<b>目標設置根拠</b>												

満足度指数は、平成26年に大きく上昇し、その後も上昇している。今後は、佐久市教育振興基本計画に掲げる学校教育の「目指す姿」の具現のために必要な施策を行い、満足度の上昇を目指す。目標値は、現在の水準を維持したうえで、5年間で+0.02を見込み3.18とする。

<b>主な施策の進捗状況</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臼田地区新小学校整備に向けた基本設計業務が完了しました。</li> <li>・小中学校の教育効果向上に必要な教材備品・図書館図書を整備を行いました。</li> <li>・基礎学力向上のため、理科支援員の配置などの支援や小中学校における英語活動、英語教育の充実のためのALT(外国語指導助手)配置や小学校英語コミュニケーション事業を実施しました。また、令和2年度からの新学習指導要領全面実施に向け、新たに小学校3・4年生の英語活動にALTを配置しました。</li> <li>・教職員の「働き方改革プロジェクトチーム」における協議を踏まえ、「学校閉庁日」を導入しました。</li> <li>・障がいのある児童生徒に対する教育相談や進路相談を就学支援専門員と各学校とが連携を図りながら行うなど、特別支援教育の充実を図りました。</li> <li>・他地域におけるブロック塀倒壊による児童の死亡事故や下校中に児童が事件に巻き込まれたことを受け、警察等の関係機関と連携した通学路緊急安全点検を行いました。</li> <li>・岩村田小学校改築事業では、管理特別教室棟・屋内運動場棟工事が竣工しました。</li> <li>・小学校3校、中学校2校のトイレの洋式化を実施するとともに、猛暑時の児童の健康を守るため普通教室への空調設備の導入を検討し、設計に着手しました。</li> <li>・学校給食臼田センターの施設整備について検討を進め、基本設計が完成しました。</li> <li>・「学校給食応援団」活動や地元生産者との交流等により、地産地消及び食育を推進しました。</li> <li>・学校血液検査結果に基づき健康調査・健康相談を実施しました。</li> <li>・正しい生活習慣を身に付けるため「生活点検表」を配布し、2週間「生活点検表による自己生活の記録」を実施しました。</li> </ul>
------------------	---

<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域とのつながりの希薄化や社会情勢の変化など教育環境が大きく変化していることから、家庭、地域、学校が連携して教育活動を進める必要があります。</li> <li>・新学習指導要領の全面実施に併せ、ICT環境の整備やALT(外国語指導助手)を活用した指導体制の充実を図るための人員整備を行う必要があります。</li> <li>・学校と教職員が担うべき業務を明確化、効率化等することにより、質の高い授業を実施し、児童生徒の学力の向上に取り組む必要があります。</li> <li>・いじめや不登校などが増加しないための対策を推進する必要があります。</li> <li>・「佐久市公共施設等総合管理計画」に基づき、「学校施設長寿命化計画」を策定する必要があります。</li> <li>・学校給食センターの計画的な整備や備品の更新を図る必要があります。</li> <li>・生活習慣病の低年齢化が問題視される中、学校現場と連携のうえ、子どものころからの健康意識の向上と疾病リスクへの注意喚起を継続して行っていく必要があります。</li> </ul>
-----------	--

<b>今後の方針</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立して社会を生き抜く力を育むため、「佐久市教育振興基本計画」に基づき各種施策を推進するとともに、地域と学校が連携した子どもを育てる取組の充実を図ります。</li> <li>・文部科学省の示すICT環境整備の基準を踏まえ、タブレット端末や大型提示装置等の情報機器の整備、ICT支援員の増員などを検討します。</li> <li>・基礎学力の向上のため、理科支援員など市独自の支援を行うとともに、外国語活動及び学習の充実のため、ALT(外国語指導助手)の増員などを推進します。</li> <li>・県の働き方改革推進のための基本方針を踏まえ、学校における働き方改革を推進します。</li> <li>・学校、保護者、関係機関や団体と連携し、いじめによる重大な事態を未然に防ぐため、正確な認知や対策を推進します。</li> <li>・長寿命化計画を策定し、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図るとともに、学校施設に求められる機能・性能を確保していきます。</li> <li>・令和元年度中には、新小学校の整備を控える臼田地区の小学校以外の全ての小中学校の普通教室に空調設備を整備します(臼田地区の小学校については冷風機等で対応します)。</li> <li>・給食センターの定期検査を実施し、計画的な修繕や備品の更新を行います。</li> <li>・給食施設全体の整備においては、統廃合や調理業務の民間委託も視野に入れ検討します。</li> <li>・アレルギー対応食の提供体制の充実に努めます。</li> <li>・学校と連携し、より効果的な子どもへの保健教育を推進します。</li> </ul>
--------------	---

<b>審議会意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒数の減少、指導者の確保といった部活動の課題に長期的な視点で対応を検討されたい。</li> <li>・総合型地域スポーツクラブや、スポーツ少年団、スポーツごとの協会と連携して、部活動等の指導者の育成に取り組まれたい。また、部活動指導員については、学校ごとの実情に合わせた柔軟な配置を検討されたい。</li> </ul>
--------------	--

# 施策名 「高校教育・高等教育」

## 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 3.02 → 目標値 (H33) 3.03</p>	H30 満足度 指数	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>2.99</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.03</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.02</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.16</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	2.99	平成26年	3.03	平成28年 (基準値)	3.02	平成30年	3.16
	年度		満足度指数									
平成24年	2.99											
平成26年	3.03											
平成28年 (基準値)	3.02											
平成30年	3.16											
<p>目標設置根拠</p> <p>満足度指数は、ほぼ平均値で横ばい傾向にある。今後は、佐久市奨学金制度において平成29年より償還金の一部免除を実施する等、施策の充実により満足度の維持を目指す。目標値は微増の3.03とする。</p>												

<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学等卒業後の佐久市内への定住を促進するため、平成29年度に佐久市奨学金貸与制度<sup>※</sup>を改正し、卒業後佐久市内に居住する等の条件を満たす場合、償還金の3分の1以内を免除できるようにしました。 償還金免除実績：平成29年度…13件、平成30年度…11件</li> <li>※佐久市奨学金貸与制度：高校、高専、大学等への修学の意思と能力がありながら、経済的な理由で修学が困難な人への貸与型奨学金</li> <li>・平成30年度より給付型奨学金「SAKUコスモス育英基金奨学金」<sup>※</sup>制度を開始し、初年度は10名に奨学金を給付しました。</li> <li>※SAKUコスモス育英基金奨学金：市への寄附金を原資とした、経済的に修学が困難な大学生を対象とした給付型奨学金</li> <li>・信州大学・佐久大学・佐久大学信州短期大学部と締結した包括的な連携協定に基づき、高等教育機関と連携した事業を推進しました。</li> <li>・県立高校の再編に伴い望月高校の廃止が決定し、その後に長野西高校通信制望月サテライト校の設置方向が示されていることを踏まえ、地域要望を踏まえた新たなサテライト校のあり方について、地域と連携して県への働きかけを行いました。</li> </ul>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会情勢の変化も考慮し、利用者ニーズに応じた佐久市奨学金貸与制度の見直し(貸与時期の見直し、滞納者の未然防止)を進めていく必要があります。</li> <li>・連携協定を結んだ大学の持つ知識や技術、学生のアイデア等がどの様な行政分野で活用できるか検討を進めていく必要があります。</li> <li>・県立高校の再編の動きを注視していく必要があります。</li> </ul>
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐久市奨学金貸与制度について、奨学金の申請時期を現在の進学後(4月)から在学中に早める予約採択の導入を検討します(受験期本格化前に予約採択し、保護者・受験生の安心感を醸成できるとともに、奨学金を年度当初に貸与することができ授業料等の学費に直結することができる。)</li> <li>・各種高等教育機関との連携により、より効率的な行政運営、地域産業の活性化等を図ります。</li> <li>・長野西高校通信制望月サテライト校の設置に向け、地域と連携した取組を推進します。</li> </ul>
<p>担当課</p>	<p>学校教育課・企画課</p>

<p>審議会意見</p>	<p>・今後も引き続き施策の充実に取り組まれない。</p>
--------------	-------------------------------

# 施策名 「青少年健全育成」

## 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28)      目標値 (H33)</p> <p>3.15 → 3.20</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.13</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.04</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.06</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.15</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.13</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.04	平成26年	3.06	平成28年 (基準値)	3.15	平成30年	3.13
年度	満足度指数											
平成24年	3.04											
平成26年	3.06											
平成28年 (基準値)	3.15											
平成30年	3.13											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、上昇傾向にある。これは地区育成会活動への支援により青少年育成活動件数の増加や、補導委員による街頭報道活動、子どもが多様な体験ができる研修事業等を実施したことによるものと考えられる。今後は少子化が進む中で、次代を担う人材を育成することが重要となることから、地区育成会活動、補導活動、体験活動や海外研修等の事業を引き続き実施し、満足度の上昇を目指す。目標値は、過去の上昇傾向を維持するため年+0.01を見込み3.20とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区育成会活動を支援するため、地区交付金及び地域体験活動補助金を交付しました。</li> <li>非行の未然防止と早期発見のため、引き続き街頭補導活動及び少年相談等を実施しました。</li> <li>多くの新成人の門出を祝うため成人式を実施しました。 実績:成人式対象者 1,121名のうち838名出席(出席率74.8%、昨年度比1.57%ダウン)</li> <li>多くの青少年が自然体験、社会体験といった普段の生活では経験できない多彩な体験を経験することができるよう、ジュニアリーダー研修を実施しました。</li> <li>中学生海外研修、子ども交流研修を実施し、エストニア共和国サク市やモンゴル国スフバートル区の子どもたちと交流することにより、青少年の国際的視野を広げるとともに、相互理解を深めました。また、応募者が減少傾向にあることから、参加者が作成した壁新聞を市内中学校や、野沢会館、市民ホールに掲示し活動内容を幅広く周知しました。 実績:エストニア参加者数 8人      モンゴル参加者数 7人</li> </ul>											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>少子化のため、地区での育成会活動が困難になってきています。</li> <li>街頭補導活動では、少子化や子どもたちの生活パターンの変化により、街中で指導する機会が減っています。</li> <li>国の法改正により、成人が令和4年4月から18歳になるため、成人式の開催時期、また対象年齢等について改めて検討する必要があります。</li> <li>より多くの新成人に、成人式に出席してもらえよう周知等に取り組む必要があります。</li> <li>インターネットに関わるトラブルに子どもが巻き込まれる事件・事故が増加しているため、フィルタリング<sup>※</sup>利用の推奨など、安全にインターネットを使用するための啓発に取り組む必要があります。 <sup>※</sup>フィルタリング:インターネット上の好ましくないサイトの閲覧を制限すること。</li> <li>中学生海外研修では応募者が減少傾向のため、応募者を増やすための取組を検討する必要があります。</li> </ul>											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>少年センター育成推進協議会の総会時等で育成推進員の役割や活動内容を周知し、効果的な活動を推進します。</li> <li>街頭補導活動では子どもたちに声掛けができるように巡回時間や場所を検討します。</li> <li>成人式の開催方法や内容の検討、参加を促すための効果的な周知活動を行います。また、インターネットからの参加受付を引き続き行い、参加者の利便性を維持向上させます。</li> <li>成人年齢の引き下げについて、成人式の対象年齢等を検討し、決定後は速やかに市民への周知を図ります。</li> <li>インターネットの危険性や安全な使い方について講演会や研修会を開催し周知します。</li> <li>未来を担う人づくり、青少年の健全育成は市民の願いであることから、青少年育成事業、青少年補導事業、ふるさと創生人材育成事業を引き続き実施し、その成果を発信します。</li> </ul>											
<p>担当課</p>	<p>生涯学習課・公民館</p>											

<p>審議会意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生海外研修では、現地での生徒の不安を極力減らすよう取り組まれない。</li> <li>インターネットの危険性や安全な使い方についての講演会や研修会は、対象者を考えた内容とし、まずは子ども達に正確な情報を伝えるよう取り組まれない。</li> </ul>
--------------	--

## 2 主体的、創造的な学びと文化の熟成

### 施策名 「文化・芸術」

#### 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28)      目標値 (H33)</p> <p>3.12 → 3.17</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.13</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>2.99</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>2.93</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.12</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.13</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	2.99	平成26年	2.93	平成28年 (基準値)	3.12	平成30年	3.13
年度	満足度指数											
平成24年	2.99											
平成26年	2.93											
平成28年 (基準値)	3.12											
平成30年	3.13											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、平成28年には0.19上昇した。これは文化振興基金活用事業等の効果によるものと考えられる。 今後も文化振興基金活用事業を充実させることにより満足度の上昇を目指す。 目標値は、年+0.01を見込み3.17とする。</p>												

<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐久市文化振興基金の運用益を活用し、「キッズ・サーキット in 佐久」(5, 310人来場)、ファミリーミュージカル(755人来場)など優れた舞台芸術に触れる機会を提供しました。</li> <li>・近代美術館では、収蔵美術資料による展覧会や特別企画展などの展覧会を企画開催しました。また、市民が自分で制作した美術作品を応募できる「佐久平の美術展」を開催しました。</li> <li>・例年実施している美術講座等に加え、市民を含む多くの観覧者の満足度の向上対策として、新たにトークフリーデー、市民公募展、幼児を対象とした読み聞かせ等を企画開催しました。</li> <li>・県文化財保護指導員及び市文化財保護審議会委員による文化財パトロールを実施しました。</li> <li>・後継者育成補助金の交付を行いました。 実績: 交付件数6件</li> <li>・考古遺物展示室に佐久市出身の声優白井悠介さんによる音声案内を導入しました。</li> <li>・歴史講座及び小学校への出前講座を実施しました。 実績: 歴史講座等開催回数 11回</li> </ul>
------------------	---

<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設の老朽化の状況に応じた効率的な修繕を検討する必要があります。</li> <li>・更なる文化振興を図るため、文化、芸術活動の促進及び施設の利用を向上させる必要があります。</li> <li>・文化を取り巻く社会情勢やニーズなどを見極め文化振興事業を実施し、文化振興を推進する必要があります。</li> <li>・市民の文化・芸術活動を促進するためには、特色ある展覧会や市民の活動を支援する事業を継続して実施していく必要があります。</li> <li>・文化財は貴重な国民的財産であるとの認識を市民が共有できるよう、文化財に触れる機会を設ける必要があります。</li> </ul>
-----------	--

<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐久市文化振興基金の運用益を活用し、「キッズ・サーキット in 佐久」をはじめとする舞台芸術に係る催しを開催することで、より一層の文化振興を推進します。</li> <li>・各施設の老朽化等の現状把握に努め、長寿命化計画の策定に向けた検討を進めていきます。</li> <li>・収蔵資料を調査・研究の上、近代美術館を始めとする各施設の特徴を生かした展覧会を開催し、市民の文化・芸術活動の中心となる美術鑑賞等の機会を確保していきます。</li> <li>・全国規模の公募展である佐久全国臨書展や、市民が参加できる公募展「佐久平の美術展」を開催するとともに、市民自ら展覧会が開催できる会場を提供するなど、自主的な文化・芸術活動を継続して支援していきます。</li> <li>・市民の財産である文化財の保護のため、文化財パトロールを定期的実施するとともに、所有者等に対し現状調査を実施します。</li> <li>・市町村誌等の販売促進や、広報・ホームページ等を活用し、文化財の情報を発信します。</li> <li>・指定文化財の計画的な補修及び地域の活動や後継者育成に対する支援を行います。</li> <li>・発掘調査による成果を広く公開するため、出土品の展示や歴史講座を実施します。</li> <li>・市民の文化財、歴史に対する関心を高めるため、少年考古学教室の内容を充実させます。</li> </ul>
--------------	--

<p>担当課</p>	<p>文化振興課・近代美術館</p>
------------	--------------------

<p>審議会意見</p>	<p>・今後も引き続き施策の充実に取り組まれない。</p>
--------------	-------------------------------

# 施策名 「生涯学習」

## 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28)      目標値 (H33)</p> <p>3.32 → 3.32</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.29</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.25</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.25</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.32</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.29</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.25	平成26年	3.25	平成28年 (基準値)	3.32	平成30年	3.29
年度	満足度指数											
平成24年	3.25											
平成26年	3.25											
平成28年 (基準値)	3.32											
平成30年	3.29											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、上昇傾向にあり、高い値となっている。これは、団塊の世代の退職に伴う生涯学習への関心の高まりに対し、様々な講座等の充実を図ったことによると考えられる。 今後も市民のニーズに合った各種講座の開催や、生涯学習環境の整備に努めることにより、平成28年度の3.32という高い満足度の維持を目指す。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ニーズを把握するため、子ども公民館の参加者に生涯学習に関するアンケート調査を実施し、生涯学習懇話会で協議するなど、各種講座の充実に向けた検討を行いました。</li> <li>・市民の生涯学習活動を促進するため、毎月、生涯学習関連情報を集約した「マナビィさく」を公共施設に掲示するなど情報提供を行いました。</li> <li>・生涯学習市民のつどいとして「まちじゅう音楽祭」を9月23日に市民交流ひろばで開催しました。 実績:参加者数 2,800人(H29年度 2,600人)</li> <li>・市民ニーズの把握に努め多彩な講座、教室などを公民館施設で開催しました。 実績:公民館施設の延利用者数 144,857人(前年比13.4%増)</li> <li>・浅科会館の複合化、生涯学習センター(野沢会館)、東会館の改築を検討し、市民が安心安全に公民館活動を行えるよう推進しました。</li> <li>・中央図書館本館のエアコンを修繕し、快適な読書環境の確保に努めました。</li> <li>・図書館では、子ども達の夏休み時期に合わせワクワク子ども実験室を開催し、イベントの充実を図りました。</li> <li>・10月に浅科の「穂の香ホール」で図書館講座を開催しました。 実績:参加数 293人</li> </ul>											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民一人ひとりが生涯にわたり学び、生きがいや、やりがいを持ち続けられるよう、市民ニーズを踏まえた学習活動機会の提供や若年層の学習活動への参加を促進する必要があります。</li> <li>・市民の生涯学習へのニーズが多様化している中で、誰もがあらゆる機会に学習できるよう、生涯学習環境の整備推進を図っていく必要があります。</li> <li>・市立図書館の「施設延命化」に向け、施設の状況に応じた計画的な整備を検討する必要があります。</li> <li>・多様化する市民ニーズに応えるため、時代に合った図書館資料提供の視点に立ち、職員の専門研修や窓口サービスの効率化について検討する必要があります。</li> </ul>											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館利用者を対象に生涯学習に関するアンケート調査を実施し、市民の多様なニーズに対応した学習プログラム・講座の提案に努めます。また、各種講座など生涯学習関連情報を月ごとに集約した「マナビィさく」を、市民が多く訪れる公共施設に掲示するとともに市のホームページで情報提供を行います。</li> <li>・浅科会館の複合化、生涯学習センター(野沢会館)や東会館の改築においては、利用者のニーズを踏まえ生涯学習環境の充実を図ります。</li> <li>・市民ニーズに即した講座・学習・イベントを開催するとともに、効果的なPRをすることにより参加者の増加を図ります。また、わがまち佐久・市民講座や地区館講座を開催し、住民がまちづくりや地域づくりについて考える契機を創出します。</li> <li>・計画的な図書館施設の設備整備と機能の充実を図ります。</li> <li>・移動図書館の巡回地域について、利用の状況や地元要望を参考に見直しを行います。</li> <li>・図書館に対する市民ニーズを的確に把握し、利用者の視点に立った図書資料の収集、サービスを提供します。</li> </ul>											
<p>担当課</p>	<p>生涯学習課・公民館・中央図書館</p>											

<p>審議会意見</p>	<p>・生涯学習は、学校での教育が終わった後の学びの重要な機会なので、引き続き充実に取り組まれない。</p>
--------------	--



# 施策名 「スポーツ」

## 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 3.17 → 目標値 (H33) 3.30</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.13</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.02</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.15</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.17</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.13</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.02	平成26年	3.15	平成28年 (基準値)	3.17	平成30年	3.13
年度	満足度指数											
平成24年	3.02											
平成26年	3.15											
平成28年 (基準値)	3.17											
平成30年	3.13											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は平成26年に大きく上昇し、その後も上昇している。今後も生涯・競技スポーツの振興などに努めるとともに、東京オリンピック・パラリンピック開催による交流の推進などにより、目標値の上昇を目指す。目標値は、5年間で0.13ポイントの上昇を見込み3.30とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツイベントとして、オリンピック、パラリンピアンを講師に、陸上競技体験講習や、小中学校でのパラスポーツ体験を実施することにより、一流選手と触れあう機会や一流の技術を学ぶ機会を創出しました。</li> <li>・スポーツに親しむ環境づくりを推進するため、各種スポーツ大会や教室を開催しました。 実績:佐久市ハーフマラソン大会参加者 577名 小学生ドッジボール大会参加者 560名 等</li> <li>・「ホストタウン」交流計画に基づき、日本人オリンピック・パラリンピアンとの交流イベントを開催しました。また、エストニア共和国オリンピック委員会と陸上競技についての事前合宿に係る覚書を交わしました。</li> <li>・各運動施設について指定管理者と連携を図り、効率的、効果的な運営に努めました。</li> <li>・県立武道館建設において、市が整備する多目的広場、屋外トイレ、遊歩道について実施設計を行うとともに、周辺道路整備計画を策定し、用地交渉を行いました。</li> </ul>											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様化するライフスタイルやスポーツニーズに対応したスポーツ教室を企画するとともに、併せて一流選手と触れあう機会の充実を図る必要があります。</li> <li>・より多くの方が気軽に参加でき、また、参加したくなるようなスポーツ大会、教室となるよう参加者の意見も参考にし、内容等の見直しを行っていく必要があります。</li> <li>・東京オリンピック・パラリンピックに向け「ホストタウン交流計画」に基づき、交流事業を計画的に推進して行く必要があります。</li> <li>・身近で使いやすい施設となるよう既存スポーツ施設の計画的な整備、機能強化を推進する必要があります。</li> </ul>											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者アンケートや各種団体と連携する中で市民ニーズを把握し、ニーズに合ったスポーツ大会、教室などの開催を推進します。</li> <li>・「ホストタウン」交流計画に基づきスポーツ交流や、子ども達の相互交流など推進するとともに、オリンピック・パラリンピック事前合宿の誘致に取り組みます。</li> <li>・中長期的な視点で施設のあり方を検証し、社会体育施設の個別施設整備計画を策定します。</li> <li>・県立武道館の令和2年3月の供用開始に向け、周辺道路の整備を行うとともに、開館後の運用面について県や関係団体と協議していきます。</li> </ul>											
<p>担当課</p>	<p>スポーツ課</p>											

<p>審議会意見</p>	<p>・県立武道館については、市立武道館としての側面もあることから、市民の利用については現行の武道館と同様になるよう佐久市体育協会とも連携し、県と協議を進められたい。</p>
--------------	---

### 3 尊重され支え合う社会の形成

## 施策名 「人権尊重社会」

### 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28)      目標値 (H33)</p> <p>3.15 → 3.20</p>		<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.14</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成21年</td> <td>3.08</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.09</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.15</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.14</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成21年	3.08	平成26年	3.09	平成28年 (基準値)	3.15	平成30年	3.14
年度	満足度指数												
平成21年	3.08												
平成26年	3.09												
平成28年 (基準値)	3.15												
平成30年	3.14												
<p>目標設置根拠</p> <p>満足度指数は、上昇傾向にあり、人権意識の高揚への取組や人権教育の推進による効果と考える。 過去4年間で0.07上昇していることから、今後も人権同和教育・啓発活動事業などの取組を実施することにより、5年間で0.05の上昇を目指す。</p>													
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部落差別をはじめ、女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人などに対するあらゆる差別の解消を目指し、小学生を対象とした「人権の花運動」(H30は3校)や、広く市民を対象とした人権同和教育講座、学習会、人権・男女共生フェスティバルを開催しました。 実績: 講座等開催回数 50回</li> <li>・教職員やPTA・企業の皆さんを対象とした研修会等を開催し人権意識の醸成と意識改革を図りました。 実績: 研修会開催回数 29回</li> <li>・隣保館では生活文化の向上と、人権意識の高揚、住民福祉の向上を目指し、啓発・広報活動の実施及び各種教室を開催し交流を図りました。 実績: 教室開催回数 441回</li> <li>・生活・人権相談員の配置により、相談体制の充実・強化を図りました。</li> </ul>												
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園、学校、地域、家庭、職場等あらゆる場での人権同和教育、人権啓発活動を継続して実施していますが、依然として様々な人権侵害が存在しています。</li> <li>・隣保館は、福祉の向上や人権のまちづくりの拠点となるため、周辺地域住民との交流推進を目的とした創意工夫をしていく必要があります。</li> </ul>												
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとりでも多くの市民の人権感覚、人権意識が高まるよう、人権同和教育講座や各区の学習会、人権啓発活動等の事業を「繰り返し・粘り強く・根気よく」継続します。</li> <li>・社会環境の変化等による新たな人権課題や、各種研修会等からの要望事項等に取り組みます。</li> <li>・より多くの地域住民が気楽に隣保館事業に参加できるようにすることにより、世代間の交流を深め人権意識が高まるよう努めます。</li> </ul>												
<p>担当課</p>	<p>人権同和課</p>												

<p>審議会意見</p>	<p>・インターネットを使った人権侵害などが多くなるなど、様々な差別がまだまだ存在していることを踏まえ、引き続き人権意識の高揚、人権教育の推進に取り組まれない。</p>
--------------	--

# 施策名 「男女共同参画社会」

## 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 3.10 → 目標値 (H33) 3.15</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.07</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.10</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.03</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.10</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.07</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.10	平成26年	3.03	平成28年 (基準値)	3.10	平成30年	3.07
年度	満足度指数											
平成24年	3.10											
平成26年	3.03											
平成28年 (基準値)	3.10											
平成30年	3.07											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、ほぼ横ばい傾向にある。 男女共同参画プランに基づき各種施策を展開することにより、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、5年間で0.05ポイントの上昇を見込み3.15とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭・地域・職場における男女の性別による役割分担意識の解消のため、「佐久市男女共生ネットワーク」と連携して「市民フォーラム」を開催し、男女共同参画の意識づくりを推進しました。 実績: 市民フォーラム参加者数 128人 (平成29年度116人)</li> <li>・「佐久市男女共同参画推進条例」に基づき、今後の先導性が期待される取組等を行っている事業者等に対し、佐久市男女共同参画推進事業者表彰を行いました。 実績: 表彰事業者数 6事業者 (東小学校男手の会、ともに生きる佐久、株式会社木下組、株式会社やなぎだ、エムケーカシヤマ株式会社、長野吉田工業株式会社)</li> <li>・佐久市ホームページ及び広報を通じて女性相談窓口(女性相談員の配置)を周知しました。また、他の機関が発行・掲載している相談窓口情報も活用し周知しました。</li> </ul>											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画社会の実現には、世代間・男女間にある、慣習や性別による固定的役割分担意識の解消が欠かせないため、効果的な意識啓発を図る必要があります。</li> <li>・子ども・子育て支援の充実、育児休業の取得促進、多様な働き方の普及などにより、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進について、関係課と連携しながら取り組む必要があります。</li> <li>・女性相談窓口に寄せられる相談内容は、DVにとどまらず、夫婦・家族関係が主体の問題、子どもが主体の問題等幅広いものとなっており、相談内容に応じた適切な対応が求められています。</li> </ul>											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画の意識づくりのため、世代間・男女間にある、慣習や性別による固定的役割分担意識の解消の啓発機会を増やし、男女共同参画の必要性と合わせた意識づくりの啓発を推進します。</li> <li>・佐久市男女共同参画推進事業者表彰などを通して、先進的な就業制度を周知し、市民、事業者、行政が一体となって、男女がともに働きやすい環境づくりを促進します。実際に働く現場に施策が浸透するように、行政として推進する方策について関係各課と連携しながら検討します。</li> <li>・女性相談窓口では、夫婦・家族関係が主体の問題、子どもが主体の問題等幅広い相談内容に対応できるよう関係課との連携を強化します。</li> <li>・女性相談員に対する研修会へ積極的に参加をすることにより、相談体制の強化を図るとともに、知識経験があり継続して従事できる相談員の確保を図ります。</li> </ul>											
<p>担当課</p>	<p>人権同和課</p>											

<p>審議会意見</p>	<p>・PTAなど様々な組織でも男女の役割分担意識は根強く残っていることから、企業などとも連携し男女がともに活躍できる社会を目指し取り組まれない。</p>
--------------	---

## 第2章 地域の特徴を生かしたつながりあるまちづくり

急速な人口減少は、居住地域の点在化と相まって生活の利便性を一層低下させるおそれがあることから、まちの持つ可能性を最大限発揮させ、まちに活力をもたらすため、地域の特徴を生かしたまちづくりを目指します。

これまでの歴史を生かし、地域のそれぞれの核を拠点として、まちの機能を集約するとともに、その拠点と集落、地域と地域を結び合う円滑なネットワークを構築することで、将来にわたり質の高い暮らしを営むことができるまちづくりを目指します。

### 1 地域の特徴を生かしたまちづくり

#### 施策名 「土地利用」

#### 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 2.99 → 目標値 (H33) 3.00</p>	<p>H30 満足度指数</p> <p>2.93</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>2.82</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>2.87</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>2.99</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>2.93</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	2.82	平成26年	2.87	平成28年 (基準値)	2.99	平成30年	2.93
年度	満足度指数											
平成24年	2.82											
平成26年	2.87											
平成28年 (基準値)	2.99											
平成30年	2.93											
<p>目標設置根拠</p> <p>満足度指数は、H24からの4年間で0.17ポイント上昇している。第二次国土利用計画(佐久市計画)による適切な土地利用を推進することとしているが、その効果を得るには時間がかかるため、平均値である3.00を目標値とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第二次国土利用計画(佐久市計画)に沿った、秩序ある土地利用を推進しました。</li> <li>浅間地域は商業集積が進み、地域間交流の中心地として魅力が向上するなど、各地域の強みや特徴を生かした機能集約型の土地利用が図られました。</li> <li>佐久白田IC周辺には新たな工業団地の造成が決定し、佐久南IC周辺には道の駅ヘルシーテラス佐久南が整備されるなど、高速交通網の活用した土地利用により地域の活性化を推進しました。</li> <li>「佐久市都市計画マスタープラン(H30年3月改定)」を周知するとともに、プランに位置づけのある都市計画道路の見直しや用途地域の変更を行いました。</li> <li>都市計画法に基づく手続きに従い、用途地域、都市計画道路、地区計画、広場に関する都市計画決定を行いました。</li> <li>都市計画基本図整備においては、未だデジタル化が図られていない志賀、根岸、前山、大沢、布施、東立科の一部について新規に基本図のデジタル化を実施しました。</li> <li>地籍調査については、地区ごとの進捗率を勘案しながら、年次計画により進め、進捗率が低い白田地区の地籍調査を実施しました。</li> <li>農業委員会では、農地法に基づき「農地の効率的な利用」と「優良農地の確保」を推進しました。</li> </ul>											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第二次国土利用計画(佐久市計画)において、地目毎の目標値を設定し、農地を保全するため、農地の減少をこれまでの推移より大幅に抑制する値としているが、急速に非農地化が進んでいます。</li> <li>拡散型の都市構造から集約型の都市構造へ転換を推進していく必要があります。</li> <li>都市のスポンジ化<sup>※</sup>への対応と既存ストックの有効活用が求められています。  <sup>※</sup>都市のスポンジ化:都市の大きさが変わらないにもかかわらず人口が減少し、都市内に使われない空間(空き家、空き地等)が小さい穴があくように生じ、都市の密度が低下していくこと</li> <li>公共施設等を活用した居心地の良い空間づくりを行う民間事業者を発掘するとともに、民間事業者が活動しやすい仕組みや制度を検討する必要があります。</li> <li>無電柱化を推進するにあたり、基本的な考え方がまだまだ浸透していないため、内部調整や住民理解が得られるように調整を図る必要があります。</li> <li>土地所有者の高齢化などにより境界確認が困難になってきていることから、国土調査の早期完了が望まれているが、国や県の厳しい財政状況の中、補助金の要望額の確保が難しくなっています。</li> <li>農地転用事案が増加、複雑化するのに伴い、審議に高度な判断が求められています。</li> </ul>											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>無秩序な農地の転用を抑制し、優良農地の保全に努めるとともに、荒廃農地の発生防止と再生利用を促進するなど、適切な土地利用を図ります。</li> <li>都市計画マスタープラン及び立地適正化計画に基づき、長期的な視点に立った事業展開を図ります。</li> <li>都市的土地利用と自然的土地利用の調和を図ります。</li> <li>都市計画法の規定に基づき都市計画決定等の手続きを進めます。</li> <li>プレイスメイキング(地域の居場所づくり)等、既存ストックを活用する取組を推進します。</li> <li>災害防止、安全かつ円滑な交通の確保、良好な景観形成の観点から無電柱化を推進します。</li> <li>関係機関と連携し、国土調査を着実に推進します。</li> <li>県及び農業会議等が開催する研修会や講演会には積極的に参加をし、関係法令等を習得することにより、農業委員の資質向上を図ります。</li> </ul>											
<p>担当課</p>	<p>企画課・都市計画課・耕地林務課・農業委員会事務局</p>											
<p>審議会意見</p>	<p>・今後も引き続き施策の充実に取り組まれない。</p>											

# 施策名 「市街地」

## 施策目標の進捗状況

施策目標（市民アンケートによる満足度指数） 現状値（H28） 2.99 → 目標値（H33） 3.04	H30 満足度 指数	<b>3.10</b>	<b>市民アンケート満足度指数の推移</b> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>2.80</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>2.94</td> </tr> <tr> <td>平成28年（基準値）</td> <td>2.99</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.10</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	2.80	平成26年	2.94	平成28年（基準値）	2.99	平成30年	3.10
	年度			満足度指数									
平成24年	2.80												
平成26年	2.94												
平成28年（基準値）	2.99												
平成30年	3.10												
<b>目標設置根拠</b> 満足度指数は、上昇傾向にあるが、平均点を前に上昇幅は小さくなっている。立地適正化計画に基づく居住機能と都市機能の適切な誘導や佐久平駅南地区における土地区画整理事業による市街地整備などにより満足度指数の上昇を目指す。上昇幅は、平均値に近づくにつれ小さくなっていることから、5年間で0.05の上昇を目標とする。													

<b>主な施策の進捗状況</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに佐久平駅南地区の地区計画を定めました。また、これまでに定めた6つの地区計画に関しては、行為の届出に基づき適合審査を行いました。 実績：審査件数 24件</li> <li>良好な市街地の形成、生活環境の保全を図るため、開発事業者に対して、佐久市開発要綱に基づく適正な指導を行いました。 実績：審査件数 39件</li> <li>佐久平駅南地区においては、平成30年1月に土地区画整理組合が設立され、本格的な事業が開始されました。市では組合に対し、技術的、財政的な支援を積極的に行うとともに、必要な幹線道路整備を進めており、市民生活の利便性の向上や交流人口の創出に資する市街地整備に取り組めます。</li> <li>各駅前広場において、清掃や照明の修繕、放置自転車の撤去を行いました。また、佐久平駅については、アダプトシステム<sup>*</sup>、岩村田駅については、佐久総合技術高校及び老人会の方々による「花いっぱい運動」を実施し美化に努めました。 <sup>*</sup>アダプトシステム：「里親制度」とも呼ばれ、地域住民団体などが「里親」として、道路や公園などを「里子」のように愛情をもって面倒を見る（清掃・美化）ため、市と役割分担について協定を結び、必要な支援を受けつつ、継続的な美化活動を実施する制度</li> </ul>
------------------	--

<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>拡散型の都市構造から集約型の都市構造への転換が求められています。</li> <li>都市の健全な発展と秩序ある整備が求められています。</li> <li>佐久平駅南地区においては、土地区画整理事業が組合の事業計画に沿って円滑に進むことが重要となります。</li> <li>駅前広場の管理については、維持管理の方法と区分の徹底が図られておらず、突発的、緊急的な処理に対する対応が課題となっています。また、駅前の駐輪場は飽和状態にあり、歩道への駐輪が見受けられるなど、佐久市駅前広場及び周辺のあり方について検討していく必要があります。</li> </ul>
-----------	---

<b>今後の方針</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>良好な市街地の形成、景観の維持、生活環境の保全を図るため、開発指導者に対し適正な指導を行います。</li> <li>地区計画の策定等を促進し、地域の特性に相応しい態様を備えた街並み整備を図ります。</li> <li>社会資本整備総合交付金等の活用により、一定の拠点性を有する公共施設等の整備を行い、都市生活の利便性や快適性の増進を図ります。</li> <li>佐久平駅南土地区画整理事業に対しては、引き続き積極的な技術的、財政的支援を組合に対し行い、仮換地指定や農地転用協議、工事設計・施工が速やかに行われるよう支援します。また、市内において他に土地区画整理事業が必要とされる地域が把握された場合には、その事業手法や実施の可能性について、地権者や関係機関と共に慎重に協議し、適切な事業実施となるよう対応します。</li> <li>駅前広場の管理について、アダプトシステム事業、指定管理、直営、委託の管理方法を整理し、区分の徹底を図るなど効率的に実施します。また、維持管理マニュアル等を作成し、緊急的な処理に対してもスムーズに対応できるようにし、利用者へのサービスの向上を図ります。</li> <li>駐輪場については、放置自転車の撤去作業を定期的に行い、良好な状態を維持します。</li> </ul>
--------------	---

<b>担当課</b>	都市計画課・都市開発室・土木課
------------	-----------------

<b>審議会意見</b>	・今後も引き続き施策の充実に取り組まれない。
--------------	------------------------

# 施策名 「公共施設」

## 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28)      目標値 (H33)</p> <p>3.09 → 3.10</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.01</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>2.93</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.02</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.09</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.01</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	2.93	平成26年	3.02	平成28年 (基準値)	3.09	平成30年	3.01
年度	満足度指数											
平成24年	2.93											
平成26年	3.02											
平成28年 (基準値)	3.09											
平成30年	3.01											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、上昇傾向にあるが、公共施設等総合管理計画の策定により、統廃合等が進められることから、今後は満足度は下降傾向が見込まれる。しかしながら、人口減少や財政状況の維持のための「公共施設の適正化」の理解を促し、市民と行政との意識の共有を進めることで、満足度の現状維持を目指す。 上記より、目標値は基準値+0.01とし、若干ではあるが上昇するように取り組むこととする。</p>												

<p>主な施策 の 進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設の管理運営をはじめとする市の事業における民間活力の導入について、職員の理解を深めるとともに、意識の共有を図るため、「PPP*/PFI*に関する研修会」を2回開催(出席者計50名)しました。</li> <li>※PPP: 公民が連携して公共サービスの提供を行う、新しい官民協力の手法のこと。PPPの中には、PFI、指定管理者制度、包括的民間委託などが含まれる</li> <li>※PFI: 公共施設等の設計、建設、維持管理や運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図ることを目的とした手法のこと</li> <li>個別施設計画*の策定に向け、各施設所管課との調整を行いました。</li> <li>※個別施設計画: 公共施設の適正な管理を図るため策定された「公共施設等総合管理計画」(平成29年3月策定)に基づき、個別施設ごとの具体的な対応方針を定める計画として、点検・診断によって得られた個別施設の状態や維持管理・更新等に係る対策の優先順位の考え方、対策の内容や実施時期を定めるもの。</li> <li>9件(54施設)について、指定管理者の新規指定及び再指定の手続きを行いました。</li> </ul>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口構造や社会情勢の変化により多様化する市民ニーズに対応した持続可能な公共サービスを提供するため、複合化や多機能化による施設保有量の最適化や公共施設の適正な配置を図る必要があります。</li> <li>公共施設の計画的な長寿命化・耐震化を進めるほか、管理運営方法の見直しなどによるコストの最適化を推進する必要があります。</li> <li>指定管理者制度のより有効な活用を図るため、多くの民間事業者が参加可能な募集方法やインセンティブとなるような工夫を図る必要があります。</li> </ul>
<p>今後の 方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来においても持続可能な公共施設規模の最適化に向けた、佐久市公共施設等総合管理計画に基づく各施設の個別施設計画の策定に係る支援、調整を行います。</li> <li>地域に必要とされる機能を勘案し、公共施設と民間施設の複合化など、公共施設の有効活用を検討します。</li> <li>公共施設の整備については、民間資金の活用を可能とするPFI*を含むPPP*を推進します。</li> </ul>
<p>担当課</p>	<p>企画課</p>

<p>審議会 意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の複合化をする場合は、住民の動きが変わるので公共交通も併せて見直し等を検討されたい。</li> <li>PPPやPFIについては、市民にもその手法への理解が深まるよう取り組まれたい。</li> <li>施設ごとの状況を踏まえ、市がやるべきもの、民間でできるものを適切に判断し、より効率的な施設運営に取り組まれたい。</li> </ul>
-------------------	---

# 施策名 「住宅」

## 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28)      目標値 (H33)</p> <p><b>3.01</b> → <b>3.01</b></p> <p>※H28 アンケートでは「住宅・宅地」と聞いた。</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p><b>2.89</b></p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>2.88</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>2.88</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.01</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>2.89</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	2.88	平成26年	2.88	平成28年 (基準値)	3.01	平成30年	2.89
年度	満足度指数											
平成24年	2.88											
平成26年	2.88											
平成28年 (基準値)	3.01											
平成30年	2.89											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、平成28年に0.12上昇したが、人口が減少して行くことが見込まれる中、公営住宅については財政状況も勘案し建替への抑制や統廃合等を進める必要がある。また、民間住宅については空き家の増加が予測されており、それに伴い政府も新築住宅の優遇政策から中古住宅の流通促進へと政策をシフトする見込みである。</p> <p>こうしたことから、満足度は下降傾向が見込まれるものの、公営住宅の長寿命化施策や、空家等の調査に基づく適正管理・利用拡大などの抑制促進、住環境整備の支援策の推進により満足度は現状維持を目指す。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「佐久市公営住宅長寿命化計画」に基づき、リフォーム事業を実施している白山団地において、4期工事5棟20戸が竣工し、入居を開始しました。</li> <li>・市営住宅の維持管理、使用料の徴収を長野県住宅供給公社に委託する中、計画、緊急修繕の対応を行いました。</li> <li>・適正な管理がされていない無居住家屋等について、所有者等の特定をし適正な管理又は除却等を行ってもらうよう助言等を行いました。</li> <li>参考:佐久市における推定空き家件数 約3,100件</li> <li>・木造一戸建て住宅の無料耐震診断及び耐震改修に対する補助を実施しました。</li> </ul>											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公営住宅について、老朽化や入居者の高齢化・独居化が進んでおり、安全面や利便性を考慮した維持管理を進める必要があります。</li> <li>・増加する空き家の問題に対し、関係者と連携する中で対策を進め、所有者等に除却も含む適正な管理を促す必要があります。</li> <li>・良好な景観と住環境の形成を進めるため、市民自らができる住環境整備に関する広報活動や補助制度の周知が必要となります。</li> <li>・住宅の耐震化を促進する必要があります。</li> </ul>											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「佐久市公営住宅長寿命化計画」に基づき、白山団地のリフォーム事業や既存団地の計画修繕・管理を推進するとともに、「佐久市公営住宅長寿命化計画」を改定し、引き続き計画的な整備と管理に努めます。</li> <li>・住宅関連事業者との連携による情報提供により、空き家の市場流通を促進します。また、特定空家等の発生予防のため、空き家の適正な管理や空き家等の譲渡所得控除の特例措置制度の周知を図り、空き家にしないための情報提供や、所有者に対し助言などにより適正な管理を促進します。</li> <li>・良好な景観と住環境の形成を図るため、市民自らができる住環境整備に関する広報活動や補助を実施します。</li> <li>・昭和56年5月31日以前に着工した木造一戸建て住宅の耐震改修を促進するため、無料耐震診断や耐震改修工事に対する補助を実施します。</li> </ul>											
<p>担当課</p>	<p>建築住宅課</p>											

<p>審議会意見</p>	<p>・公営住宅については、老朽化が進む中、廃止、統合や、空き家等の今ある資源を有効に活用し、適正で合理的な管理に努められたい。</p>
--------------	--

## 2 地域をつなぐ交通ネットワークの形成

### 施策名 「高速交通ネットワーク」

#### 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 3.46 → 目標値 (H33) 3.48</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.47</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.45</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.40</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.46</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.47</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.45	平成26年	3.40	平成28年 (基準値)	3.46	平成30年	3.47
年度	満足度指数											
平成24年	3.45											
平成26年	3.40											
平成28年 (基準値)	3.46											
平成30年	3.47											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、ほぼ横ばいであるが、高い値を維持している。これは、北陸新幹線の金沢延伸、中部横断自動車道の利用増加などによるものと考えられる。</p> <p>今後は、高規格幹線道路の整備等を進めることにより、さらなる満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、平成29年度中に中部横断自動車道が(仮称)八千穂ICまで開通予定であり、交通の利便性も高まることから+0.02を見込み、3.48とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中部横断自動車道佐久南インターチェンジ～八千穂高原インターチェンジ間が平成30年4月に開通し、記念式典を実施しました。</li> <li>北陸新幹線佐久平駅の停車本数は、平成31年3月のダイヤ改正でも改正前と同様の本数を維持しています。</li> <li>実績:佐久平駅停車本数 上り 25本 下り 25本 (休日も平日も同数)</li> <li>佐久平スマートインターチェンジの利用促進を図るため、デジタルサイネージでの情報発信や啓発用チラシの配布を実施しました。</li> <li>佐久平スマートインターチェンジへの円滑な誘導を図るため、案内標識板の購入、点検を実施しました。</li> </ul>											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中部横断自動車道の基本計画区間である八千穂高原インターチェンジ～(仮称)長坂ジャンクション間の整備計画の早期格上げを確実に実現する必要があります。</li> <li>北陸新幹線の大阪までの整備促進のほか、乗降客数の増加に向け取り組む必要があります。</li> <li>交流人口の創出及び地域産業の活性化を図るため、佐久平スマートインターチェンジの利用促進を図る必要があります。</li> <li>デジタルサイネージを活用した情報発信の他にも、観光・商工両面との連携によるインターチェンジの利用促進を更に検討する必要があります。</li> </ul>											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中部横断自動車道の早期全線開通に向けた要望活動を推進するとともに、中部横断自動車を最大限に活用した交流の拡大や産業の振興に資する利用促進に取り組みます。</li> <li>高速道路及び施設等の誘導看板について、利用者に分かりやすい案内ができるよう、関係機関と調整していきます。</li> <li>北陸新幹線の金沢～敦賀間の早期完成と大阪までの早期整備を促進するとともに、佐久平駅の乗降客数の増加と利便性の向上に向けた取組を推進します。</li> <li>インターチェンジの利用率向上を目指し、関係機関と連携し利用促進に向けた取組を推進します。</li> </ul>											
<p>担当課</p>	<p>道路建設課・公園緑地課</p>											

<p>審議会意見</p>	<p>「高速交通ネットワーク」は満足度指数も高く、佐久市の特徴であることから、より効果的にPRに取り組むとともに、それを生かした施策に取り組まれない。</p>
--------------	---



# 施策名 「地域交通ネットワーク」

## 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28)      目標値 (H33)</p> <p style="font-size: 2em;">2.97 → 3.00</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p style="font-size: 1.5em;">3.05</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.06</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.03</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>2.97</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.05</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.06	平成26年	3.03	平成28年 (基準値)	2.97	平成30年	3.05
年度	満足度指数											
平成24年	3.06											
平成26年	3.03											
平成28年 (基準値)	2.97											
平成30年	3.05											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、下降傾向となっている。          今後は、効果的な地域幹線道路網の整備や、計画的な道路の維持管理等を進めるとともに、地域公共交通の見直しによる交通機関の利便性の向上と運行の効率化を図ることにより、満足度の上昇を目指す。          目標値は、まずはこの5年間で0.03ポイント回復させ、平均値である3.00とする。</p>												

<p>主な施策 の 進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東西幹線などの地域幹線道路の整備を進めるとともに、中石堂・長者原、大平、岩村田踏切の改良等を実施しました。</li> <li>県事業の都市計画道路相生大手線、相生赤岩線について地元負担金を支出し、事業進捗を図りました。</li> <li>都市計画道路の見直しを4路線実施しました。</li> <li>跡部白田線(第3工区)の用地465.5㎡の取得、道路築造工事(水路工事)を実施しました。</li> <li>道路等の計画的な維持管理に係る区要望は1,277件あり、そのうち719件(56.3%)について測量及び工事を実施しました。</li> <li>地域公共交通を維持するため「佐久市地域公共交通網形成計画」を策定し、平成29年10月から循環バス、デマンドタクシーエリアの拡大など公共交通を見直しました。さらなる利便性向上を図るため、乗降データや利用者アンケート等を収集し、運行ダイヤや停留所について検討しました。 実績：延べ地域公共交通利用者数 113,027人(平成29年度延べ利用者数 114,096人)</li> <li>北斗の拳ラッピングバスの制作や利用教室の開催、イベントでの試乗会等、利用促進施策を展開しました。</li> </ul>
----------------------------	---

<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域幹線道路網の整備の重要度は高く必要とされているが、厳しい財政状況の中、国の補助金配分が縮小傾向にあるため、財源の確保が課題となっています。</li> <li>都市計画道路の整備状況、交通需要、社会情勢などにより、都市計画道路の更なる見直しを行う必要があります。</li> <li>道路の効率的な維持管理と道路愛護意識の高揚を図るため、アダプトシステムによる道路管理等に取り組む必要があります。</li> <li>人口減少・少子高齢化の進行を踏まえ、危険性や緊急性の高い箇所から計画的に道路整備を行う必要があります。</li> <li>路線バスの維持確保は、利用者数の減少や、バス運転手の不足、燃料費の高騰等により難しい状況であるとともに、デマンドタクシーの利便性の向上は財政的な面からも困難な部分もあることから、より効果的、効率的な地域公共交通網の構築が求められています。</li> <li>高齢者の交通事故が増加する中で、適正な時期での免許証返納が求められています。免許書返納後の移動手段の確保のためにも、将来にわたり持続可能な公共交通体系を構築する必要があり、より多くの市民の方に利用していただけるよう、周知活動を広く行う必要があります。</li> </ul>
-----------	---

<p>今後の 方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国、県の補助金、交付税措置のある有利な起債等を有効活用し、費用対効果を勘案しながら地域幹線道路網等の整備の進捗を図ります。</li> <li>県事業の関連工事及び市事業の関連工事とも、関係機関及び関係部署と協議を行い、事業を進めます。</li> <li>跡部白田線(第3工区)事業を推進します。</li> <li>危険性や緊急性の高い路線から計画的な拡幅整備を推進するとともに、日常において通行等に支障が出た場合は、修繕等を早急に実施し利便性の向上を図ります。</li> <li>佐久市地域公共交通網形成計画に基づく新たな公共交通体系の各種利用状況を収集し、市民ニーズのあった公共交通体系の構築を検討します。</li> <li>各停留所の乗降データを収集することで、運行経路の変更や停留所の追加、移動、削減を行い、地域に即した公共交通体系となるよう取り組みます。</li> <li>デマンドタクシー利用説明会等による利用促進を進めるとともに運行事業者への指導を強化し、デマンドタクシー1台あたりの乗降者数の増加を目指します。また、デマンドタクシーの利用状況によっては、現状の単価契約から貸し切りでの運行も検討します。</li> </ul>
<p>担当課</p>	<p>生活環境課・土木課・道路建設課・都市計画課</p>

<p>審議会 意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化が進む中、デマンドタクシーの利便性の向上に取り組まれない。</li> <li>AIや自動運転など新たな技術の活用も視野に、より効果的な地域交通ネットワークの構築を検討されたい。</li> </ul>
-------------------	---

### 第3章 力強い産業を営む活力と魅力のあるまちづくり

経済のグローバル化の進展などによる国内外の市場競争激化の中で、地域の農林水産業、商工業の競争力強化を支援するとともに、豊かな自然環境、高速交通網の結節点としての優位性、災害の少なさといった地域の特徴を生かした企業誘致の推進により、活力あるまちづくりを目指します。

人口減少克服と豊かな生活につながる働く場、働きの質を確保することで、働きやすく、暮らしやすいまちづくりを目指すとともに、若者、女性、障がい者などの多様な担い手が満足して活躍できるまちづくりを目指します。

消費者ニーズや販売形態の多様化により商圈や消費購買動向が絶えず変化する中で、まちの核となる商店街や商業施設、豊かな自然環境や地域文化を生かした観光地に国内外から多くの人が集い、交流する魅力あるまちづくりを目指します。

#### 1 豊かな自然を生かした農林水産業の振興

#### 施策名 「農業」

#### 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28)      目標値 (H33)</p> <p>3.01 → 3.11</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.00</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>2.93</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>2.92</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.01</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.00</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	2.93	平成26年	2.92	平成28年 (基準値)	3.01	平成30年	3.00
年度	満足度指数											
平成24年	2.93											
平成26年	2.92											
平成28年 (基準値)	3.01											
平成30年	3.00											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、平成28年に0.09上昇している。今後は、新・農業振興ビジョンに基づき、担い手の経営基盤の強化、農地の利用集積、安全安心な食料供給、農村の振興等に積極的に取り組み、農家や市民の満足度の向上を目指す。目標値は、過去4年間の伸び率(年+0.02)が継続することを見込み、3.11とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人・農地プランについて延べ15地区において見直しを行いました。また、農地中間管理事業において新たに約72haの農地集積を行いました。</li> <li>・新規就農者や農業後継者の確保・育成を図るため、市独自事業により定着のための経費を補助しました。実績: 補助金交付件数 5件 交付額 1,000,000円</li> <li>・農作物の有害鳥獣対策として、望月地区1箇所、合計4,000mの広域防護柵を設置しました。</li> <li>・大阪市中央卸売市場においてトップセールスを行うとともに、酒造好適米の栽培及び醸造試験を実施しました。</li> <li>・地元農家の生産物が学校給食の食材として提供される仕組みである「学校給食応援団」が、グッドデザイン賞を受賞しました。</li> <li>・約268haの農地を対象に中山間地域等直接支払交付金を交付し、地域の取組を支援しました。</li> <li>・老朽化した揚水ポンプの交換や、傷んだ排水路の改修、農道舗装を実施するなど農業基盤施設の整備を推進しました。</li> <li>・市内11組織において多面的支払機能交付金事業に取り組み、農地の適正な維持管理や機能向上が図られました。</li> <li>・広報紙や農業委員会委員などを通し、より経営に役立つ情報などを農家に提供しました。</li> </ul>											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業の担い手が減少、高齢化する中で、新規就農者や農業後継者の確保・育成を図る必要があります。</li> <li>・地域の特徴を生かした農産物のブランド化、産地化を図るため、産地における農業用施設の整備などを支援する必要があります。</li> <li>・認定農業者の育成を図るとともに、経営の安定化のために農地の集積や法人化に向けた支援を行う必要があります。</li> <li>・優良農地の保全を図るとともに、荒廃農地や有害鳥獣による農作物被害対策を講じる必要があります。</li> <li>・農業基盤施設の老朽化が進んだ地区を計画的に整備する必要があります。</li> <li>・農業基盤施設維持管理においては、地域の共同活動も促進する中で、長寿命化を図る必要があります。</li> <li>・農地等の利用の最適化を積極的に推進する必要があります。</li> </ul>											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人・農地プランについて地域の話し合いを進めるとともに、農地中間管理事業による農地の集積を進めます。</li> <li>・農業振興地域整備計画の総合見直しを行うことにより、農業生産の基盤となる優良農地を確保します。</li> <li>・農作物の有害鳥獣対策として、広域防護柵の設置などの取組を支援します。</li> <li>・地域の特徴を生かした農水産物の生産強化を図るほか、6次産業化や地産地消の推進を図ります。</li> <li>・都市部との交流を図るため、農業体験を行う団体等を支援します。そのため、農村地域を守る組織の支援を継続します。</li> <li>・農業基盤施設の老朽化を調査し、施設や地区ごとの整備計画を作成します。</li> <li>・多面的機能の観点から地域の共同活動による農業基盤施設の維持管理を普及させます。</li> <li>・担い手への農地の集積・集約化とともに、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進を図ります。</li> </ul>											
<p>担当課</p>	<p>農政課・耕地林務課・農業委員会事務局</p>											
<p>審議会意見</p>	<p>・生産者の収入の増加につながるよう、引き続き農産物のブランド化や、6次産業化の推進に取り組まれない。</p>											

# 施策名 「水産業」

## 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 3.08 → 目標値 (H33) 3.18</p>		<p>H30 満足度指数</p> <p>3.08</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.01</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.08</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.08</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.08</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.01	平成26年	3.08	平成28年 (基準値)	3.08	平成30年	3.08
年度	満足度指数												
平成24年	3.01												
平成26年	3.08												
平成28年 (基準値)	3.08												
平成30年	3.08												
<p>目標設置根拠</p> <p>満足度指数は、横ばいである。          今後は、これまでの内水面漁業振興に加え、平成29年度から鮎に対する振興策を着実に進めていくことにより満足度指数の上昇を目指す。          目標値は、過去4年間の伸び率(年+0.02)が継続することを見込み、3.18とする。</p>													
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水田鮎生産量拡大のため「水田鮎養殖技術研修」を開催するとともに、一般向けセミナーを開催しました。              実績:技術研修参加者 8名(H29年度は3名)              一般向けセミナー参加者 30名(H29年度 30名)</li> <li>佐久鯉消費拡大のため、新たな食べ方(低温熟成鯉の刺身)の提案と試食会を開催しました。              実績:会議2回開催し、試食会参加者 200名</li> </ul>												
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域文化の継承につながる鮎の水田養殖は、担い手の不足や高齢化などにより生産者が減少しており、生産活動を支援する必要があります。</li> <li>鯉だけでなく、信州サーモンなど佐久市産の養殖魚について積極的なPRを行う必要があります。</li> <li>佐久鯉については、若年層を始めとして消費が減少していることから、消費者層を明確化した上で消費拡大を図る必要があります。</li> <li>商業や観光業と連携し、水産業の多面的な振興を促進する必要があります。</li> </ul>												
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水田鮎養殖技術研修のほか、生産基盤となる稚魚の養殖技術研修を実施します。</li> <li>ガバメントクラウドファンディングを活用することにより、低温熟成した佐久鯉の刺身による美味しさの情報発信、提供可能店舗の拡大を図ります。</li> </ul>												
<p>担当課</p>	<p>農政課</p>												
<p>審議会意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>低温熟成鯉については、商品としての魅力はあるが、まだ認知度が低いことから、提供店舗の拡大や周知に取り組まれない。</li> <li>採算性の面からも水田鮎の生産者は減少していることから、生産に対する支援も検討されたい。</li> </ul>												

# 施策名 「林業」

## 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28)      目標値 (H33)</p> <p>2.85 → 2.90</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>2.86</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>2.84</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>2.88</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>2.85</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>2.86</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	2.84	平成26年	2.88	平成28年 (基準値)	2.85	平成30年	2.86
年度	満足度指数											
平成24年	2.84											
平成26年	2.88											
平成28年 (基準値)	2.85											
平成30年	2.86											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、平均値よりも低い値で、横ばい傾向である。素材生産が増加しているにもかかわらずこのような傾向にあるのは、木材利用に対する市民の関心が薄くなっていることによるものと考えられる。</p> <p>今後は、地元産材であるカラマツなどを公共施設などに活用し、地元産材の利用の促進や、多くの人に木の温もりを身近で感じてもらう関心を高めることにより、満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、年+0.01を見込み2.90とする。</p>												

<p>主な施策 の 進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩村田小学校の改築に当たり、管理特別教室棟の腰壁や間仕切の材料として、大沢財産区と春日財産区で生産されたカラマツ材を使用しました。</li> <li>・松くい虫防除対策を市内全域で実施するとともに、被害先端地域の臼田地域では、県や地元区等と連携を図りながら重点的に実施し、被害木を922立方メートル処理しました。</li> <li>・有害鳥獣駆除は、農林業被害など市民の皆さんからの通報を受け、市と佐久市猟友会が情報共有、連携して駆除に取り組み、ニホンジカ、イノシシ1,267頭を駆除しました。また、小諸市、立科町と被害状況などの情報交換を行うとともに、立科町とニホンジカの広域駆除を実施しました。</li> <li>・各区から寄せられた8件の治山、治水事業要望については、事業主体である県へ要望書を提出し、県とともに現地調査を行いました。また、県においては、緊急性の高い1件の治山、治水工事を完了しました。</li> </ul>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的な森林整備とともに、地元産カラマツ材の活用を促進する必要があります。</li> <li>・松くい虫による被害は、今まで被害のなかった市内の標高の高い地域や南佐久郡等まで広がっていることから、防除対策の必要性が市内全域に広がっています。</li> <li>・有害鳥獣であるニホンジカ等は、市町村の境界を越えて広域を移動する動物であることから、市内の生息数や地域分布の把握が難しく、効果的な駆除が困難となっています。</li> </ul>
<p>今後の 方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元産カラマツ材などの公共施設での積極的な活用を推進します。</li> <li>・松くい虫防除事業の財源に、引き続き森林づくり県民税を全額活用します。また、今後も防除に関する研究や分析などを行っている国、県からの情報や指導を参考に、効果的な防除対策に努めます。</li> <li>・有害鳥獣駆除は令和元年度のニホンジカ、イノシシの目標駆除頭数が、前年度比で750頭増え2,000頭となっているため、これまで以上に佐久市猟友会等と綿密な情報伝達や連絡を行い、状況把握と的確な被害防止を実施します。また、引き続き小諸市、立科町と広域連携を実施します。</li> <li>・治山、治水事業要望は、事業主体である県とともに現地調査を行い、事業実施の実現に取り組みます。</li> </ul>
<p>担当課</p>	<p>耕地林務課</p>

<p>審議会 意見</p>	<p>・カラマツ材をブランド化し活用していくには、私有林の整備も必要であることから、森林譲与税の活用など検討し整備を促進されたい。</p>
-------------------	---

## 2 活力と魅力があふれる商業の振興

### 施策名 「商業・サービス業」

#### 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 2.87 → 目標値 (H33) 3.00</p>	<p>H30 満足度指数</p> <p>2.84</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>2.86</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>2.85</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>2.87</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>2.84</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	2.86	平成26年	2.85	平成28年 (基準値)	2.87	平成30年	2.84
年度	満足度指数											
平成24年	2.86											
平成26年	2.85											
平成28年 (基準値)	2.87											
平成30年	2.84											
<p>目標設置根拠</p> <p>満足度指数は、平均の3.00を下回りほぼ横ばいである。今後は、中心市街地活性化基本計画策定による商業振興を図ることにより、平均値である3.00を目指す。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<p>中小企業者への経営支援のため、佐久市中小企業融資制度による資金の融資を実施しました。 実績:市制度融資実績 241件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街等の魅力を高めるため、空き店舗対策事業補助金の交付を行いました。 実績:交付実績 46件の申請者に対して、19,533千円交付</li> <li>・佐久物産振興会と連携し、友好都市、交流都市などで開催されるイベントで市物産の紹介、販売を行いました。 実績:県外イベント出展 15回(相模原市民桜まつり、ちがさき産業フェア、朝霞市民まつり等)</li> </ul>											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の店舗数・売り場面積は減少傾向が続いていることから、市内外から多くの人を呼び込むことができる商業・サービス業の振興を図る必要があります。</li> <li>・大型店の立地に対し、適切な出店が行われるよう、関係機関と連携する必要があります。</li> <li>・商店経営者の人材育成や、後継者不足が深刻な課題となっており、適切な支援を行う必要があります。</li> <li>・消費税率引き上げに伴い国が進めるキャッシュレス化への対応を検討する必要があります。</li> <li>・高齢化に伴う買い物弱者の増加が懸念されることから、市としての効果的な対応を検討する必要があります。</li> </ul>											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐久市中小企業融資制度については、商工団体、金融機関等との連携により、経済状況等に応じた融資の手続きを進めます。</li> <li>・商店街組織のまちおこし事業などの商店街活性化事業により、既存商店街の魅力の創出を支援するとともに、「空き店舗対策事業」により、空き店舗の解消を推進します。</li> <li>・現在進めている中心市街地活性化事業計画等から、市として行うべき支援等の検証を進め、各地域の既存商店街のあり方検討にも応用することにより、「賑わいのあるまち」につながる施策を推進します。</li> <li>・商業施設などの出店が適切に行われるよう、関係機関との連携を強化します。</li> <li>・商店街のキャッシュレス化や、買い物弱者などへのきめ細やかなサービス等に対して、継続的に協力していきます。</li> <li>・サービス業の活性化のため、専門的技術を備えた人材の育成・確保の支援を継続します。</li> <li>・各地で開催されるイベントにおいて、市物産の紹介、販売を行い、販路拡大を図ります。</li> </ul>											
<p>担当課</p>	<p>商工振興課</p>											

<p>審議会意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐久産業支援センターや商工会議所、商工会等と連携し、商店経営者の人材育成や、後継者不足への対応に取り組まれない。</li> <li>・高齢化が進む中、地域の小さな商店などへの支援も検討されたい。</li> </ul>	
--------------	--	--

### 3 地域の魅力を生かした観光の振興

## 施策名 「観光」

### 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28)      目標値 (H33)</p> <p>3.03 → 3.15</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.03</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>2.85</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>2.89</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.03</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.03</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	2.85	平成26年	2.89	平成28年 (基準値)	3.03	平成30年	3.03
年度	満足度指数											
平成24年	2.85											
平成26年	2.89											
平成28年 (基準値)	3.03											
平成30年	3.03											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、上昇傾向にあり、平成28年には平均である3.00を超えた。これは、関係都市などのイベント参加や新聞雑誌などの観光誘客宣伝などを強力に進めてきたことによるものとする。今後は、インターネットなどによる情報発信や、広域連携を図ることによる魅力の向上を進めることにより、満足度の上昇を目指す。目標値は、過去の伸び率から+0.12の伸びを見込み3.15とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐久バルーンフェスティバルは、悪天候によりフライト数が少ない中でも観客動員数が22万5千人となりました。</li> <li>・観光重点PR地区を臼田地区とし、集中プロモーションを展開し、ぴんころウォーキング等を開催しました。</li> <li>・企業版ふるさと納税を活用し、観光PRバルーン「北斗の拳バルーン」を作成しました。</li> <li>・佐久市内山地区アウトドアフィールド基本構想を策定しました。</li> </ul>											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光人口の増加や交流人口の創出、移住促進につなげるためには、佐久市の認知度がまだまだ低いことから、既存観光施設を含め新たなPR方法について検討する必要があります。</li> <li>・国内のみならず県内における訪日外国人旅行者数の増加傾向が続いていることから、インバウンド対応を検討する必要があります。</li> <li>・観光施設の計画的な整備、修繕を推進する必要があります。</li> </ul>											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度は年度ごとの観光重点PR地区を浅科地区とし、集中プロモーションとして、世界かんがい施設遺産に登録された五郎兵衛用水、中山道などのPRを実施します。</li> <li>・新たに製作した北斗の拳バルーンを活用したイベントを首都圏などで開催します。</li> <li>・軽井沢に来る観光客を誘引するため同町との連携とPRにより佐久市の認知度を高めます。</li> <li>・SNSにより、佐久市の魅力などについて話題性のあるの情報提供を継続して推進します。</li> <li>・内山牧場キャンプ場のリニューアルを実施し、新たな誘客と地域の活性化に取り組みます。</li> <li>・地酒や良質な食材が豊富なことは佐久の魅力となっていることから、地域の食を健康長寿のまちに結びつけることにより、新たな佐久のPRポイントとして発信します。</li> <li>・インバウンド対応として、宿泊関係者等関係団体と連携し、受け入れ体制の強化を図ります。</li> <li>・中部横断自動車道の全線開通を見据え、道の駅「ヘルシーテラス佐久南」などを活用した更なる観光交流を推進します。</li> <li>・観光施設や、観光案内標識といった観光関連施設の計画的な整備、修繕を推進します。</li> </ul>											
<p>担当課</p>	<p>観光課</p>											

<p>審議会意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内山牧場については、合宿やキャンプといった利用のニーズが増えていることから、関係団体等とも連携しPRに取り組まれない。</li> <li>・定期的な史跡の整備や、分かりやすい案内の充実により、効果的な観光資源の活用を努められたい。</li> <li>・SNSなどの活用といった時代にあった観光PRに努められたい。</li> <li>・来年度のオリンピックに間に合うようインバウンド対応策を推進されたい。</li> <li>・北斗の拳バルーンをより有効に活用し、バルーンフェスティバルの集客拡大や、地域の活性化に繋がれたい。</li> </ul>	
--------------	--	--

## 4 力強いものづくり産業の振興

### 施策名 「工業」

施策目標の進捗状況											
<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28)      目標値 (H33)</p> <p>2.98 → 3.10</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.00</p>										
<p>目標設置根拠</p> <p>満足度指数は、平均値を下回っているが、上昇傾向にある。今後は、健康長寿産業振興ビジョンに基づく施策展開をすることにより、満足度の上昇を目指す。 目標値は、平成24年から28年までの4年間で0.16上昇しており、今後も上昇傾向を持続させるため5年間で+0.12を見込み、3.10とする。</p>											
<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>2.82</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>2.86</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>2.98</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.00</td> </tr> </tbody> </table>		年度	満足度指数	平成24年	2.82	平成26年	2.86	平成28年 (基準値)	2.98	平成30年	3.00
年度	満足度指数										
平成24年	2.82										
平成26年	2.86										
平成28年 (基準値)	2.98										
平成30年	3.00										
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工業生産基盤の強化のため、市内既存企業の工場建設、生産設備導入への経費の補助を実施しました。 実績:平成30年度補助金交付件数:8件</li> <li>工業経営基盤の強化のため、企業間連携による新製品、新技術の共同開発への補助を実施しました。 実績:平成30年度補助金交付件数:6件</li> <li>産業立地推進員を2名配置(首都圏・中京圏)し、企業訪問により企業誘致活動を推進しました。</li> <li>製造業事業者に対する経営・技術・知的財産に関する相談支援事業を実施しました。</li> <li>「佐久産業支援センター」や商工団体と連携を図り、新製品・新技術の研究開発などの支援を行いました。</li> </ul>										
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が所有する工業団地は全て売却となり、企業誘致の受け皿となる新たな工業用地の確保が急務となっています。</li> <li>市内製造業者も業績の回復傾向にあり、設備投資を増やしていることから、今後も、社会情勢や企業ニーズなどを注視しつつ、将来の競争力強化に向けた投資に対し、適切な支援を行う必要があります。</li> </ul>										
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(仮称)佐久臼田インター工業団地の早期整備に取り組みながら、市内の空き工場や空き事務所などの発掘にも努め情報発信を行うことで企業誘致を推進します。</li> <li>健康長寿産業ビジョンに基づき、産業支援機関と連携し、医療、福祉産業の創出を推進していくとともに、経済状況を把握し社会情勢の変化や企業ニーズを的確に捉え、地域における産業の育成及び発展につなげます。</li> </ul>										
<p>担当課</p>	<p>商工振興課</p>										
<p>審議会意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業誘致は地域の働く場所の確保だけでなく、地域外からの生産年齢人口の流入にもつながることから、積極的に推進されたい。</li> <li>企業誘致には人と人のつながりが重要であることから、様々な経験のある佐久産業支援センターの職員と産業立地推進員が連携し、企業誘致活動を推進されたい。</li> <li>すでに佐久市に進出している企業についても佐久産業支援センターや商工団体と連携し、流出防止支援を検討されたい。</li> </ul>										

## 5 地域を支える安定した雇用の確保

### 施策名 「就労・雇用」

#### 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 2.67 → 目標値 (H33) 2.80</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>2.80</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>2.46</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>2.64</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>2.67</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>2.80</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	2.46	平成26年	2.64	平成28年 (基準値)	2.67	平成30年	2.80
年度	満足度指数											
平成24年	2.46											
平成26年	2.64											
平成28年 (基準値)	2.67											
平成30年	2.80											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、平均値を下回っているものの、上昇傾向にある。今後は、就職相談会や首都圏における企業PR、インターンシップ実施学生に対する支援策などにより、満足度の上昇を目指す。目標値は、平成24年から28年までの4年間で0.21上昇していることから、今後も上昇を見込み2.80とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者の市内企業への就職促進のため、インターンシップ事業に参加する学生を受け入れた企業に対し補助金を交付するとともに、参加する学生にも、交通費及び宿泊費について補助金を交付しました。 実績: 受入れ企業数 3社 (参加学生数 24名 (うち参加学生への補助利用者19名))</li> <li>無料職業紹介所「さくさくワーク」を平成30年6月に開設し、就職相談、職業紹介を実施しました。 実績: 相談件数 158件 うち採用 11件 (就職支援員2名配置)</li> <li>市主催の面接会等や市内企業のPR、学生の就活状況等調査のため、就職支援員による県内、群馬、山梨の各大学へ訪問を行いました。 実績: 上田地区4校、長野地区5校、松本・諏訪・茅野地区4校、高崎、前橋地区7校、甲府・大月・都留地区4校 計24校</li> </ul>											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>より効果的、効率的な企業と人材のマッチングのため、支援制度等を検討する必要があります。</li> <li>少子化、人口減少の進行に伴い、労働力不足が社会問題化してきていることから、新規学卒者の地元就職の促進やU・J・Iターン施策の推進により、若年層を中心に労働力の確保を図る必要があります。</li> <li>女性、高齢者、障がい者など多様な担い手が、技術・知識を十分に発揮できる就労体制の整備を促進する必要があります。</li> </ul>											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業及び学生等のニーズを把握し、就職支援員が市内企業と求職者のマッチングを図り、ハローワーク等の関係機関と連携する中で、就労・雇用対策を強化します。</li> <li>就職支援として、県内外の大学等への訪問による市内企業PRや、ハローワーク等の関係機関と連携を強化し、その時の雇用情勢やニーズに対応した対策を検討し実施していきます。</li> <li>無料職業紹介所「さくさくワーク」による、就職支援員の就職相談、職業紹介を実施し、市内企業における雇用の確保及び市民や移住希望者、学生等に対する就職支援施策の強化を図ります。</li> <li>関係機関と連携を図り、高齢者、障がい者などの雇用の促進を図ります。</li> </ul>											
<p>担当課</p>	<p>商工振興課</p>											

<p>審議会意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市主催の面接会などを積極的にPRし、市内の労働力の確保に取り組まれない。</li> </ul>
--------------	--



## 第4章 豊かな暮らしを育む健康長寿のまち

健康であることは、一人ひとりが質の高い暮らしを営むとともに、生産年齢人口が急速に減少する中で地域社会、地域経済を健康な高齢者が支えるために必要不可欠であることから、引き続き健康長寿のまちづくりを目指します。

出生から、乳幼児期、就学期、就労期、高齢期までのライフステージの違いや、病気や障がいの違いに応じて、保健、医療、介護、福祉が連携して必要な支援を行い、誰もが安心して、質の高い暮らしを営むことができるまちづくりを目指します。

特に、人口減少克服のために、結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援により、安心して出産、子育てができるまちづくりを目指します。

### 1 生涯にわたる健康づくりの推進

#### 施策名 「健康増進」

##### 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28)      目標値 (H33)</p> <p style="font-size: 2em;">3.32 → 3.33</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p style="font-size: 1.5em;">3.29</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.25</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.31</td> </tr> <tr> <td>平成28年</td> <td>3.32</td> </tr> <tr> <td>平成30年 (基準値)</td> <td>3.29</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.25	平成26年	3.31	平成28年	3.32	平成30年 (基準値)	3.29
年度	満足度指数											
平成24年	3.25											
平成26年	3.31											
平成28年	3.32											
平成30年 (基準値)	3.29											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、他の施策と比べても高い値を維持している。引き続き保健指導員や、食生活改善推進委員など、地域に根差す健康の担い手を地道に養成し、満足度の維持、向上を目指す。目標値は、高い満足度を維持することを目指し、微増の3.33とする。</p>												

<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健指導員の地区自主活動を全ての地区において実施しました。</li> <li>・健康長寿のブランド化推進において、市民モニターを募集し、歩行計測器を用いた健康増進調査を実施しました。また、映像やパンフレットを用いて関係団体へPRを実施し、海外からの視察者数も大幅増となりました。</li> <li>実績: 海外からの視察者数 176人 (平成29年度 161人)</li> <li>・各種健康増進事業は事故等なく計画どおり実施できました。</li> <li>・地域集団健診結果報告会において、歯周病の集団指導による健康教育を実施しました。</li> <li>・生活習慣病重症化予防の取組として、ハイリスク者への重症化予防保健指導を実施しました。</li> <li>・びんころ食コンテストの入賞作品レシピ集の配布を行い、普及活動を行いました。</li> <li>・小中学校で実施していた「フッ素洗口事業」の対象を保育園・幼稚園の年長児まで拡大しました。</li> <li>・食生活改善推進協議会と連携するとともに、びんころ運動推進事業などの食育事業を推進しました。</li> </ul>
------------------	--

<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林セラピーロードがオープンから14年目となり、木橋や木柵等が老朽化しており、利用者の安全を図るため、計画的に修繕していく必要があります。</li> <li>・保健センターが築後30年以上経過しているため、計画的に建物の修繕、改修や設備の充実を進めていく必要があります。</li> <li>・保健指導員の地区自主活動では、高齢者向けの内容が多いことから、全ての世代に関心を持ってもらえるような内容とする必要があります。</li> <li>・乳幼児のむし歯保有率が全国平均以上であることから、食生活指導や歯みがき指導など、むし歯予防を総合的に推進する必要があります。</li> </ul>
-----------	---

<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健指導員が地域での活動に活かせるよう、引き続き充実した研修会を実施します。また、全ての地区において地区自主活動が実施できるよう地区担当保健師が支援します。</li> <li>・森林セラピーロードの老朽化した施設の修繕を計画的に実施します。</li> <li>・将来にわたり佐久市民が健康長寿でありつづけるために、映像やパンフレット等を活用し、佐久市の「健康長寿」ブランドを市民にも発信し、健康意識の啓発に努めます。</li> <li>・保健センターは必要に応じて修繕、改修を実施し、安全で利用しやすい施設環境に努めます。</li> <li>・保健指導員会や食生活改善推進協議会と協働し、市民が支え合いながら楽しく健康増進を行えるよう、地域での健康に関する各種活動を促進します。また、ウォーキングステーション、さくさく食育応援隊育成事業等、若い世代へのアプローチにつながる活動を市民とともに実施します。</li> <li>・乳幼児のむし歯予防に対する新たな取組を進め、各年代に合った歯科保健事業を継続します。</li> <li>・びんころ運動推進事業を実施するとともに、食生活改善推進協議会、関係各部署での連携を図り、全世代へ向けた食育事業を実施します。</li> </ul>
--------------	--

<p>担当課</p>	<p>健康づくり推進課</p>
------------	-----------------

<p>審議会意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健指導員になることのメリットなど、経験者の声を周知することにより、保健指導員の成り手の確保に努められたい。</li> <li>・保健指導員が地域自主活動に取り組みやすいよう、更なる支援を検討されたい。</li> </ul>
--------------	--

# 施策名 「保健活動」

## 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28)      目標値 (H33)</p> <p>3.19 → 3.24</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.28</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.23</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.30</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.19</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.28</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.23	平成26年	3.30	平成28年 (基準値)	3.19	平成30年	3.28
年度	満足度指数											
平成24年	3.23											
平成26年	3.30											
平成28年 (基準値)	3.19											
平成30年	3.28											
<p>目標設置根拠</p> <p>満足度指数は、他の施策に比べ高い値を維持しているが、平成28年は0.11下降している。 これは「どちらでもない」と回答している方が増えていることから、取組自体が日常生活の中で浸透した結果によるものとする。 今後も、さらなる保健活動の充実、感染症予防対策の推進、心の健康づくりの啓発に努め、満足度の上昇を目指す。 目標値は、平成24年程度までの上昇を見込み3.24とする。</p>												

<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診受診者の利便性を図るため、電子申請による申し込みを実施しました。 実績: 申請件数 283件</li> <li>・心といのちの支援相談員による相談を実施するとともに、心といのちの総合相談会を年2回実施しました。また、自殺対策推進本部及び幹事会等の会議を開催しました。</li> <li>・中学生向け自殺予防啓発事業を市内8校にて実施しました。</li> <li>・国民健康保険における特定健診の受診率向上のため、広報紙への掲載など啓発活動を行いました。 実績: 国保特定健診受診率 平成29年度41.4% (平成28年度40.3%)</li> </ul>
------------------	---

<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代からの生活習慣病予防や重症化予防といった保健活動が重要となるが、多くの方にその必要性が理解されていないため、周知や啓発活動に取り組む必要があります。</li> <li>・自殺予防に関わる人材育成を行うとともに、相談支援や自殺予防啓発を継続して行う必要があります。また自殺者数は減少傾向にあるにも関わらず、若年層の自殺者数は全国的に見ると横ばい傾向にあるため、子ども・若者向けの対策に取り組む必要があります。</li> <li>・特定健診の受診率は上昇傾向にありますが、依然40%程度のため、予防意識を高めるなど受診率の向上を図る必要があります。</li> <li>・国保における特定保健指導の実施率については、平成29年度において61.9%と国の目標値60%に到達しているが、更なる実施率の向上に努める必要があります。また、重症化予防の観点から、特定保健指導では健康状態の改善が図られる充実した指導を行っていく必要があります。</li> </ul>
-----------	--

<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分の健康は自分で守る」という高い健康意識を持っていただくため、市民に対する健康教育に取り組みます。</li> <li>・保健補導員会等の住民組織との協働により、若い世代への健康教育を充実させます。</li> <li>・佐久市自殺対策総合計画に基づき、心のホットライン佐久といった相談事業やゲートキーパーの養成など自殺対策を推進します。また、子ども・若者対策として、「児童生徒のSOSの出し方に関する教育」を引き続き実施します。</li> <li>・広報紙掲載やFMさくだいら出演等のほか、工夫した啓発活動により、特定健康診査や特定保健指導の重要性を周知し、受診率・実施率を向上させます。</li> </ul>
--------------	--

<p>担当課</p>	<p>健康づくり推進課・国保医療課</p>
------------	-----------------------

<p>審議会意見</p>	<p>・全国的に子どもの自殺数が減少していないため、チャイルドライン佐久などの各種団体とも連携し、引き続き積極的に取り組まれない。</p>
--------------	---

# 施策名 「医療」

## 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 3.33 → 目標値 (H33) 3.34</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.37</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.11</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.23</td> </tr> <tr> <td>平成29年 (基準値)</td> <td>3.33</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.37</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.11	平成26年	3.23	平成29年 (基準値)	3.33	平成30年	3.37
年度	満足度指数											
平成24年	3.11											
平成26年	3.23											
平成29年 (基準値)	3.33											
平成30年	3.37											
<p>目標設置根拠</p> <p>満足度指数は、上昇傾向にあり高い値となっている。 引き続き地域医療体制の充実と浅間総合病院の充実を推進し、満足度の維持、向上を目指す。 目標値は、高い満足度を維持することを目指し、微増の3.34とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐久市保健医療等連携会議を開催し、地域医療体制について関係機関と意見交換を行いました。</li> <li>・市の出前講座「上手な医療機関へのかかり方」を1回実施し、住民への啓発を行いました。</li> <li>・休日小児科急病診療センター、平日夜間急病診療センターを年間を通して開設するとともに、佐久医師会の協力のもと、休日の在宅当番医を実施しました。</li> <li>・「へき地内山診療所」については、平成29年11月より定期的な利用者が不在となったため、予約による診療としたが、平成30年度の診療実績はなかった。利用者がいない状況を踏まえ、医師や地域住民の代表、地域の会合において地域住民から意見聴取を行いました。</li> <li>・浅間総合病院では、適正病床数再編の一環として、平成30年度をもって医療療養病床を廃止しました。</li> <li>・浅間総合病院では、平成30年7月に脊椎外来を開設し、脊椎脊髄を専門とする医師2名による診療を開始したことで、より専門的で良質な医療の提供を行いました。</li> </ul>											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児科医の不足による小児救急の不安定化が危惧されています。</li> <li>・「へき地内山診療所」については、定期的な利用者がいなくなったことから、廃止に向けた検討をして行く必要があります。</li> <li>・浅間総合病院では、市民が必要とする医療の提供を行うため、人材確保や経営基盤の強化に取り組む必要があります。</li> </ul>											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度をもって佐久総合病院再構築が完了し、医療機関の役割分担や連携が進むなど、地域の医療体制が整備される中、今後も、佐久市保健・医療等連携会議を開催し、地域の医療体制等について協議していきます。</li> <li>・「へき地内山診療所」については、地域住民の懇談において、診療所を廃止することに理解を得られたことから、再度地域住民に廃止に向けた周知等を図り、診療所の廃止を進めます。</li> <li>・浅間総合病院では、市民が必要とする良質な医療を提供するため、医師を始めとする人材確保や、経営基盤の強化とともに、医療機器や施設の計画的な更新を行います。</li> </ul>											
<p>担当課</p>	<p>健康づくり推進課・国保医療課・浅間総合病院</p>											
<p>審議会意見</p>	<p>・浅間病院は、地域の総合病院として医師が働きやすい環境づくりに努め、計画的に人材の確保や診療科の充実に取り組まれない。</p>											

# 施策名 「医療保険・国民年金」

## 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 3.07 → 目標値 (H33) 3.10</p>	<p>H30 満足度指数</p> <p>2.92</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>2.82</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.01</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.07</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>2.97</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	2.82	平成26年	3.01	平成28年 (基準値)	3.07	平成30年	2.97
年度	満足度指数											
平成24年	2.82											
平成26年	3.01											
平成28年 (基準値)	3.07											
平成30年	2.97											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、上昇傾向にある。これは、国民健康保険財政の健全化に向けた取組みや保険税(料)の収納率の向上、窓口等における資格等管理事務の適正化によるものと考えられる。          高齢化が進む中で、将来にわたり安定した医療保険運営を図ることが重要となるが、今後の保険税(料)の改定などにより満足度指数は下降することが予想される。しかしながら、保険給付費の縮減に向けた取組や保険税(料)収納対策の強化、各制度の解りやすい広報などにより、満足度の現状維持を目指す。          上記により、目標値は基準値+0.03とし、若干ではあるが上昇するように取り組むこととする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国保における各事業を適切に行うことにより、実質収支や、積立基金の面からも健全運営に努めました。              実績:実質収支+194,229千円(対前年△288,635千円)、基金残高:1,245,581千円              ※実質収支は、制度改革により県が財政主体となったことに伴い減少となっています。</li> <li>・国保税及び後期高齢者医療保険料の収納率向上のため、滞納者への折衝の強化を図りました。              収納率実績:国保 現年94.2%(対前年度0.3ポイント増)              後期 現年99.6%(対前年度0.1ポイント減)</li> <li>・国民年金事務については、国からの法定受託事務として、小諸年金事務所と協力し事務を行い、市として納付特例等を広報紙に掲載し周知を図りました。              実績:保険料免除申請3,941件受領、資格異動届処理件数3,739件</li> </ul>											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被保険者の高齢化、高度医療化の進展等により医療費は増加傾向となっています。</li> <li>・国保税の滞納額は減少傾向にあるものの、依然として多額であり、滞納整理や未納対策に取り組む必要があります。</li> <li>・国保税収入が伸び悩む中、医療費の縮減を図り、国保財政への影響を極力少なくすることが求められています。</li> <li>・国民年金は、若い世代を中心に未加入者や未納者が増加していることから、年金制度の啓発に努める必要があります。</li> <li>・後期高齢者医療制度の適切な運営のため、後期高齢者医療保険料の収納率の向上に取り組む必要があります。</li> </ul>											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民健康保険制度については、専任徴収員の設置、ジェネリック医薬品の使用促進、治療中断者への保健指導、特定健診の受診率向上のため啓発活動等に取り組みます。</li> <li>・年金制度について広報活動や相談会などを行い、無年金者の解消を図り、保険料の免除制度の周知などにより未納防止に努めます。</li> <li>・後期高齢者保険料の徴収に関し、専任徴収員による早期の個別訪問や口座振替、コンビニ収納などの利用促進を図ります。</li> </ul>											
<p>担当課</p>	<p>国保医療課</p>											

<p>審議会意見</p>	<p>・今後も引き続き施策の充実に取り組まれない。</p>
--------------	-------------------------------

## 2 地域で支え合う社会福祉の実現

### 施策名 「地域福祉」

#### 施策目標の進捗状況

<p>施策目標（市民アンケートによる満足度指数）</p> <p>現状値（H28） 3.10 → 目標値（H33） 3.15</p> <p>※H28 アンケートでは「福祉のまちづくり」と聞いた。</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.09</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.07</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.00</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.10</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.09</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.07	平成26年	3.00	平成28年 (基準値)	3.10	平成30年	3.09
年度	満足度指数											
平成24年	3.07											
平成26年	3.00											
平成28年 (基準値)	3.10											
平成30年	3.09											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、平成26年に平均点まで下降したが、平成28年は0.1上昇した。          今後は、第三次佐久市地域福祉計画を策定し、市民の社会福祉意識の高揚を図るとともに、社会福祉協議会や民生児童委員など関係機関との協働により、地域コミュニティを育成し、市民満足度の上昇を目指す。          目標値は、平成24年から28年の4年間では0.03上昇していることから、今後5年間で0.05の上昇を目指す。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害の避難時に支援が必要な方を表記した「災害時住民支え合いマップ」を作成する区に対して支援をしました。 実績：作成区数 239区</li> <li>・地域福祉の更なる推進のため、平成30年3月に策定した「地域福祉計画・地域福祉活動計画」に基づく施策を推進しました。</li> <li>・社会福祉協議会と連携し、福祉体験教室の実施及びボランティア活動の促進を図りました。 実績：福祉体験教室実施回数 30回（小学校 3校、中学校 4校、高校 1校）</li> </ul>											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域福祉計画・地域福祉活動計画」に基づく施策を計画的に実施するためには、地域住民や関係機関等との協働・連携の必要があります。</li> <li>・子どもたちからのボランティア活動など、福祉の心を育てる教育を促進する必要があります。</li> </ul>											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域福祉計画・地域福祉活動計画」に基づき、市民の社会福祉意識の高揚と、地域コミュニティの育成を図るとともに、地域住民や関係機関との協働・連携により、総合的な地域福祉ネットワークの充実を図ります。</li> <li>・「災害時住民支え合いマップ」の未作成の区に対し、作成の支援を行います。</li> <li>・社会福祉協議会と連携し、小・中・高校生等を対象とした福祉体験教室の充実を図り、福祉の心を育てる教育を推進します。</li> </ul>											
<p>担当課</p>	<p>福祉課</p>											

<p>審議会意見</p>	<p>・「災害時住民支え合いマップ」については、作成したから終わりということではなく、実際の災害時に活用できるよう、情報共有など区と連携して取り組まれない。</p>
--------------	--

# 施策名 「介護・高齢者福祉」

## 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28)      目標値 (H33)</p> <p><b>3.09</b> → <b>3.10</b></p> <p><small>※H28 アンケートでは「高齢者福祉・介護保険」と聞いた。</small></p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p><b>3.08</b></p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.00</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>2.97</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.09</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.08</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.00	平成26年	2.97	平成28年 (基準値)	3.09	平成30年	3.08
年度	満足度指数											
平成24年	3.00											
平成26年	2.97											
平成28年 (基準値)	3.09											
平成30年	3.08											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、平均値前後だったものが、平成28年に0.12ポイント上昇した。これは、地域包括ケアシステムの構築、介護保険の適正な運営などにより、不満と回答した人の割合が減少したことによると考える。引き続き施策の推進に努めることにより、上昇した満足度指数の維持を目指す。目標値は、微増の3.10とする。</p>												

<p>主な施策 の 進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア個別会議、地域包括ケア協議会等を開催しました。</li> <li>・「認知症にやさしいネットワーク委員会」を年2回開催し、見守り体制の構築や認知症施策を推進しました。</li> <li>・17事業の介護予防事業を実施しました。 実績：後期高齢者の介護予防や健康の維持増進について指導を行う「75歳・80歳おたっしや訪問指導事業」参加者 1, 859人 一般高齢者向けの参加型事業、「はつらつ音楽サロン」「転倒骨折予防事業」「脳いきいき健康教室」等9事業参加者数 3, 315人</li> <li>・保健師や栄養士、理学療法士が地区に出向き、介護予防の講話や実践指導を行いました。</li> <li>・介護保険法に基づき、地域密着型サービス事業所の指定更新を18件、中間の現地指導を4件実施しました。</li> <li>・「権利擁護相談事業」について、広報紙やFM佐久平での周知だけでなく、地区サロンや民生児童委員会、認知症にやさしいネットワーク委員会においても現状報告をし、周知を行いました。</li> </ul>
----------------------------	---

<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らし高齢者や高齢者世帯の増加に伴い、要支援高齢者の更なる支援が求められています。</li> <li>・認知症高齢者などの増加に伴い、見守り体制を充実していく必要があります。</li> <li>・事業の実施状況から新規介護保険認定者の状況などの推移について評価し、事業内容について検討、改善していく必要があります。</li> <li>・介護保険制度の適正な運営や生活圏域を踏まえながら、介護保険施設を計画的に整備していく必要があります。</li> <li>・介護人材不足が課題となっているため、介護職員の確保と育成に対する支援を検討していく必要があります。</li> <li>・近年では、経済的虐待や複雑化する消費者被害から高齢者を守る観点からも、成年後見制度の重要性が増していますが、制度利用が必要にもかかわらず、身寄りがいない、親族による虐待を受けているなどの理由により親族申立てが行えないなどケースが複雑化し、市長申立ての必要性が高まっています。</li> </ul>
-----------	---

<p>今後の 方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年4月の生活圏域の見直しに伴い、基幹型地域包括支援センターを中心に各地域包括支援センターの機能を強化するとともに、高齢者自身が支え手になり、介護予防を実践していける体制を整備し、医療・介護・保健・福祉の各分野の連携を図りながら、高齢者が自立した生活を過ごせるよう地域包括ケアシステムの更なる深化・推進を目指します。</li> <li>・フレイル<sup>※</sup>予防と重症化予防を重点課題として実施します。 ※フレイル：加齢に伴って筋力や活動量、認知機能が低下した状態</li> <li>・対象者への保健指導を進める上で、医療機関とのスムーズな連携体制の構築を目指します。</li> <li>・生活支援体制の整備として、日常生活ニーズ調査や地域ケア会議などにより、地域の高齢者支援のニーズと地域資源の状況を把握するとともに、地域における取組を総合的に支援・推進に努めます。</li> <li>・団塊の世代が75歳以上となる超高齢社会に向け、介護保険施設などの整備を推進します。</li> <li>・介護人材の確保に当たって、介護職の魅力の向上、介護人材の処遇改善、多様な人材の確保・育成などの国・県の取組について情報発信に努めるとともに、介護事業者の外国人人材の受入れ体制の構築のための事業を展開し、介護従事者の負担軽減を柱とする総合的な取組を推進します。</li> <li>・全ての高齢者が自分らしく、安心して生活を送ることができるよう、高齢者の権利擁護については、今後も事業への支援を行うとともに、市民にとって、より身近で活用しやすい制度となるよう、各種関係機関と連携し、相談窓口の紹介や、制度に関する知識の普及・啓発などに努めます。</li> </ul>
-------------------	---

<p>担当課</p>	<p>高齢者福祉課</p>
------------	---------------

<p>審議会 意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化社会において、要支援者を出来るだけ早く支援に繋げるよう、情報収集の方法など検討されたい。</li> <li>・介護保険制度の変化に合わせ、地域包括支援センターなどの機能も整理し、より効果的な運営に努められたい。</li> </ul>
-------------------	---

# 施策名 「障がい者福祉」

## 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28)      目標値 (H33)</p> <p>3.06 → 3.11</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.01</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>2.99</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.01</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.06</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.01</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	2.99	平成26年	3.01	平成28年 (基準値)	3.06	平成30年	3.01
年度	満足度指数											
平成24年	2.99											
平成26年	3.01											
平成28年 (基準値)	3.06											
平成30年	3.01											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、平均値前後ではあるが、上昇傾向にある。          今後も関係機関との連携による適切なサービス提供やきめ細やかな支援を行うことにより、満足度の上昇を目指す。          目標値は、平成24年から28年の4年間で0.07ポイント上昇していることから、今後も年+0.01ポイントの上昇を見込み3.11とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者が自立して地域生活を送れるよう、各関係機関と連携し、利用者のニーズの把握に努め、ニーズに応じた地域生活支援事業を展開しました。</li> <li>重症心身障がい児やその家族の生活支援のネットワークづくり推進の一環として、重症心身障がい児預かり事業を実施しました。 実績:「キッズケアチャレンジさく」の開催 H30.7.30～H30.8.3 参加人員延べ32名</li> <li>はぐくみ相談を実施し、親子療育支援の充実を図りました。 実績:療育支援センター登録児童数 61人</li> <li>障がい者の自立した日常生活や社会参加促進のため、委託事業所「障害者自立生活支援センター」において、点字講習会や料理教室などの講座・教室を開催しました。 実績:開催回数 56回 参加延人数652人</li> </ul>											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定特定相談支援事業所、相談支援専門員の増員及び障がい(児)者の相談支援の充実を図り、障害者総合支援法による自立支援給付事業、地域生活支援事業のサービス及びその他の障害福祉サービスを効果的に活用することにより、利用者のニーズにあった支援を実施していく必要があります。</li> <li>キッズケアチャレンジさくの利用人員増加のため、事業所での開催を促していく必要があります。</li> <li>早期療育の重要性から、療育支援体制の整備・専門職の確保が重要となります。</li> <li>障がい者の自立した日常生活や社会参加ができるよう、委託事業所と連携し、講座数や開催会場を拡大し事業を実施していく必要があります。</li> </ul>											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、関係機関と連携し、適切なサービスの提供に努めます。</li> <li>キッズケアチャレンジさくを事業所において開催できるよう、連携を図ります。</li> <li>早期療育の重要性から、保育所等への訪問を実施します。</li> <li>療育支援体制の充実のため、専門職の安定的な雇用を図ります。</li> <li>障がい者の自立した日常生活や社会参加ができるよう、委託事業所と連携し、講座数や開催会場を拡大できるよう検討していきます。</li> </ul>											
<p>担当課</p>	<p>福祉課</p>											

<p>審議会意見</p>	<p>・今後も引き続き施策の充実に取り組まれない。</p>
--------------	-------------------------------

# 施策名 「ひとり親家庭支援・低所得者福祉」

## 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28)      目標値 (H33)</p> <p><b>2.92</b> → <b>3.00</b></p> <p><small>※H28 アンケートでは「母子父子福祉・低所得者福祉」と聞いた。</small></p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p><b>2.92</b></p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p>										
<p>目標設置根拠</p>		<table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>2.94</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>2.91</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>2.92</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>2.92</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	2.94	平成26年	2.91	平成28年 (基準値)	2.92	平成30年	2.92
年度	満足度指数											
平成24年	2.94											
平成26年	2.91											
平成28年 (基準値)	2.92											
平成30年	2.92											
<p>満足度指数は、平均値より低い値で横ばい傾向にある。今後は、関係団体と連携し、子どもの居場所づくりのための支援の実施を検討するとともに、相談支援体制、日常生活支援のさらなる充実を図るなど、ひとり親家庭への支援の充実と、生活保障・自立支援の充実を図ることにより、満足度の上昇を目指す。目標値は、平均値である3.00を目指すこととする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>母子家庭等生活・自立支援事業について、母子寡婦福祉会の総会を利用して制度の周知をしました。 実績: 高等職業訓練促進給付金件数 延べ45件 自立支援教育訓練給付金件数 3件 高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金件数 0件</li> <li>経済的理由で入院助産が受けられない妊産婦の支援を行いました。 実績: 助産施設入所事業利用件数 1件</li> <li>生活保護法に基づき、適正な生活保護制度の運用に努めました。 実績: 年度末生活保護世帯数 352世帯</li> </ul>											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひとり親家庭の自立に向け支援をしていく必要があります。 児童扶養手当の対象となるひとり親家庭世帯の推移: 平成27年度1,041世帯 平成28年度1,072世帯 平成29年度963世帯 平成30年度934世帯</li> <li>生活保護受給者の経済的・社会的自立及び日常生活の自立のため、引き続き自立支援プログラムに基づく支援を実施して行く必要があります。</li> </ul>											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済的な自立に効果的な高等技能訓練促進費支給等の諸施策について広く周知を図り、家庭の状況に合った支援に取り組みます。</li> <li>生活困窮者の経済的・社会的自立のため、関係機関、民生児童委員などと連携し、相談支援体制の充実を図ります。</li> </ul>											
<p>担当課</p>	<p>子育て支援課・福祉課</p>											
<p>審議会意見</p>	<p>母子家庭等生活・自立支援事業については、まずは支援制度があることを知ってもらう必要があることから、周知に努められたい。</p>											



### 3 安心できる出産、子育て環境の整備

#### 施策名 「少子化対策・母子保健」

##### 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28)      目標値 (H33)</p> <p><b>3.22</b> → <b>3.24</b></p> <p>※H28 アンケートでは「母子保健」と聞いた。</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p><b>3.01</b></p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.14</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.24</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.22</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.01</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.14	平成26年	3.24	平成28年 (基準値)	3.22	平成30年	3.01
年度	満足度指数											
平成24年	3.14											
平成26年	3.24											
平成28年 (基準値)	3.22											
平成30年	3.01											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、横ばい傾向であるが、平均より高い値となっている。 今後も、結婚、妊娠、出産、育児における切れ目のない施策の充実により、満足度の維持を目指す。 目標値は、若干の上昇を見込み基準値+0.02とし、3.24とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠・出産の希望の実現に向け、不妊治療又は不育症治療を受けた夫婦の経済的負担を軽減するため、その治療費の一部を助成するコウノリ支援事業を実施しました。 実績:申請組数 129組 (うち妊娠 62組, 出生 37組)</li> <li>・乳幼児健診の未受診者には、電話やはがき等で連絡をとることにより、高い受診率につながりました。 実績:乳幼児健診受診率 4か月健診 99.0% 10か月健診 98.2% 1歳6か月健診 98.0% 3歳児検診 98.4%</li> <li>・妊産婦の方の医療費の負担軽減を図るため、プレママ医療給付事業を実施しました。 実績:実支給人数 1,110人 給付額 22,054千円</li> </ul>											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・核家族化の進行や出生率の低下、情報過多といった母子をとりまく社会環境に変化がある中、母親の育児不安の軽減と、親子の間に安定した愛着を形成するための支援を行う必要があります。</li> <li>・不妊治療の高齢化が進んでいるため、妊娠・出産の適齢期を周知する必要があります。</li> <li>・プレママ医療費給付事業については、事業が始まったばかりのため、市内外に制度周知を図る必要があります。</li> </ul>											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コウノリ支援事業を希望する市民が申請できるよう、引き続き制度の周知に取り組みます。</li> <li>・母子の健全な成長を目的とした指導や助言を実施するために、健診や教室等で育児不安を抱える母親の早期発見と、適切な指導、助言を行えるよう体制を強化します。</li> <li>・乳幼児健診や教室・相談事業に関わるスタッフのスキルを向上させるための研修等を実施します。</li> <li>・プレママ医療費給付事業については、母子手帳交付時に、福祉医療費申請を勧奨するなど、対象者に分かりやすく制度周知をするとともに、広報媒体、保健センターや医療機関などにパンフレットを配布するなど対象でない方にも広く制度の周知を図ります。</li> </ul>											
<p>担当課</p>	<p>健康づくり推進課・国保医療課</p>											

<p>審議会意見</p>	<p>・今後も引き続き施策の充実に取り組まれない。</p>
--------------	-------------------------------

**施策名 「子育て支援・児童福祉」 ※幼稚園関係施策は第1章「幼児教育」に記載される**

**施策目標の進捗状況**

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28)      目標値 (H33)</p> <p><b>3.20 → 3.25</b></p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p><b>3.16</b></p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.20</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.13</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.20</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.16</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.20	平成26年	3.13	平成28年 (基準値)	3.20	平成30年	3.16
年度	満足度指数											
平成24年	3.20											
平成26年	3.13											
平成28年 (基準値)	3.20											
平成30年	3.16											
<p><b>目標設置根拠</b></p>												
<p>満足度指数は、平成26年に下降が見られたが概ね横ばい傾向にある。 今後も多様化するニーズに対応し、子育て支援事業、保育サービス、児童館運営などの充実を図ることにより、満足度の上昇を目指す。 目標値は、年間+0.01を見込み3.25とする。</p>												

<p><b>主な施策の進捗状況</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様化するニーズに対応するため、子育てサロンやつどいの広場などの子育て支援事業を推進しました。 実績:子育てサロン開催回数 延べ291回(市内19箇所)、利用者数 延べ6,327人 つどいの広場開催回数 延べ913回(市内5箇所)、利用者数 延べ26,808人</li> <li>全国で児童虐待による深刻なケースが増える中、市では要保護児童の早期発見及びその適切な保護を図るとともに、県佐久児童相談所や佐久警察署など関係機関との連携を一層強化するため、佐久市要保護児童対策地域協議会を設置し関係機関の代表者による代表者会議を開催するなど情報共有を図りました。</li> <li>乳児保育、延長保育、休日保育、病児・病後児保育などニーズに応じた保育を実施しました。</li> <li>猛暑時における園児の健康を守るため、公立保育園の保育室への冷房設備の導入を検討し、設計に着手しました。また、私立保育園の保育室への冷房設備設置事業に対する補助制度を制定しました(令和元年度より3年間の補助)。</li> <li>臼田地区の小学校統合に併せ児童館の配置について、既存児童館の活用を図っていくことを方針としました。</li> <li>子ども未来館においては、常設科学展示リニューアルに向けた実施設計を行いました。</li> </ul>
<p><b>課題</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>少子化により就学前児童の人口は減少しているものの、未満児保育利用者については急増しており対応が求められています。</li> <li>今後実施が予定されている教育・保育の無償化や、働き方改革など社会情勢の変化により、一層の未満児入所の増加や保育ニーズの多様化とそれに起因する保育士不足に対応する必要があります。</li> <li>子ども未来館は開館から18年が経過していることから、施設の空調設備や照明設備等についても計画的に更新していく必要があります。</li> </ul>
<p><b>今後の方針</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てサロンやつどいの広場など子育て環境・支援の充実を図ります。</li> <li>未満児保育利用者の増加といった保育サービスにおける課題を整理し、短期・中期的な対応策について、公立保育園だけでなく私立保育園や幼稚園を含め検討します。</li> <li>令和元年度中に公立保育園の全ての保育室に冷房設備を整備します。</li> <li>児童が自主的に参加し、自由に遊び、安全に過ごすことのできる放課後や週末等の居場所づくりとしての児童館運営を図ります。また、地域との交流を大切にした事業の計画や地域ボランティアを積極的に受け入れるなど事業の充実を図ります。</li> <li>子ども未来館のリニューアルは開館以来初めての取組となることから、科学展示のみならず施設全体を含め計画的・効果的に取り組めます。</li> </ul>
<p><b>担当課</b></p>	<p>子育て支援課</p>

<p><b>審議会意見</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童館における地域との交流については、受け身ではなく児童館からも情報を発信して取り組まれない。</li> </ul>
---------------------	---

## 第5章 快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり

美しい景観、水と緑にあふれる豊かな自然環境は、暮らしの豊かさを生み出すだけでなく、佐久市への新しいひとの流れを生み出すまちの魅力であることから、魅力をさらに輝かせ、将来につなげていくまちづくりを目指します。

晴天率の高さや、豊かな自然環境といった特徴を生かし、再生可能エネルギーの利活用などを推進することで、地球環境にやさしいまちづくりを目指します。

環境にやさしいライフスタイルが生み出す環境と調和した美しいまちの魅力や、日常生活を支える充実した生活環境が生み出す心地良いまちの魅力をさらに輝かせ、住み続けたい、住みたい、快適さのあるまちづくりを目指します。

### 1 豊かな自然環境との共生

#### 施策名 「環境保全」

##### 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 3.05 → 目標値 (H33) 3.06</p>	<p>H30 満足度指数</p> <p>3.06</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.07</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.04</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.05</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.06</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.07	平成26年	3.04	平成28年 (基準値)	3.05	平成30年	3.06
年度	満足度指数											
平成24年	3.07											
平成26年	3.04											
平成28年 (基準値)	3.05											
平成30年	3.06											
<p>目標設置根拠</p> <p>満足度指数は、横ばい傾向にある。今後も環境保全に係る各種施策を展開し、良好な自然環境や生物多様性が確保された住みよい生活空間を創り出すことにより、満足度の上昇を目指す。しかしながら、過去の満足度の変動が小さいことから、目標値は微増の3.06とする。</p>												

<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境審議会を1回開催し、環境施策の実施状況に係る審議を行いました。</li> <li>・自然観察会を6回開催するとともに、平成30年度緑の環境調査「生きものさがし」では、第二次佐久市環境基本計画で定めた指標生物を含む5種(コウモリ類、ヤモリ、ゲンゴロウ、カラス、シロチョウ)についての生息状況の報告を募りました。</li> <li>実績: 緑の環境調査生きものさがし報告件数 1, 288件</li> <li>・水資源の保全のため、地下水盆を共有している12市町村と佐久地域流域水循環協議会を設置し、佐久地域水循環計画の策定に向け検討をはじめました。</li> <li>・佐久市が事務局となっている、「水資源保全全国自治体連絡会」の各種会議及びシンポジウム等を開催しました。</li> <li>・佐久市自然環境保全条例に基づき、山林及び原野の開発等に関する相談や申請に対し、適切な指導や許可を行いました。</li> </ul>
------------------	---

<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな自然を守り、市民が健康で文化的な生活を営むことができる良好な環境を確保していく必要があります。</li> <li>・緑の環境調査「佐久市生きものさがし」では、第二次佐久市環境基本計画で定めた指標生物について、継続的に調査をする必要があるとともに、より多くの調査協力を得るための工夫をしていく必要があります。</li> <li>・「水循環基本法」及び「水循環基本計画」に基づき、地下水盆を共有している佐久地域12市町村が一体となって水資源保全に係る施策に取り組んでいく必要があります。</li> </ul>
-----------	---

<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題は、国際的かつ広域的な対策のほか、個人のライフスタイルや、事業活動を見直し、変えることも解決のための一歩であることから、身近で取り組めるプロジェクト等について、市民参加のワークショップなどで話し合い、実施に向け取り組みます。</li> <li>・水資源保全全国自治体連絡会を通じ、水資源保全に向けた施策の策定、啓発活動及び国に対する提言等に取り組めます。</li> <li>・佐久地域の水循環では、地下水が重要な役割を果たすため、国が推進する「流域水循環計画」を佐久地域12市町村で策定します。</li> </ul>
--------------	--

<p>担当課</p>	<p>環境政策課・公園緑地課</p>
------------	--------------------

<p>審議会意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来植物について、市民の認知度はまだ低いことから、区とも連携し周知と駆除に取り組まれたい。</li> <li>・千曲川水系における農薬や赤土の流入、アオサギの増加等を原因とする鮎などの減少についても対策等を流域市町村とともに検討されたい。</li> </ul>
--------------	--

# 施策名 「街並み緑化・公園・景観形成」

## 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28)      目標値 (H33)</p> <p>3.17 → 3.20</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.12</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>2.93</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.10</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.17</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.12</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	2.93	平成26年	3.10	平成28年 (基準値)	3.17	平成30年	3.12
年度	満足度指数											
平成24年	2.93											
平成26年	3.10											
平成28年 (基準値)	3.17											
平成30年	3.12											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、大幅に上昇傾向にある。これは、市民交流ひろばや佐久総合運動公園の整備によるものと考えられる。          今後も佐久総合運動公園内の野球場、クロスカントリーコースの整備などの公園施設の充実により、目標値の上昇を目指す。          目標値は、既に高い値となってきたことから5年間で+0.03を見込み3.20とする。</p>												

<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者制度、シルバー人材センターを活用するとともに、アダプトシステム<sup>※</sup>による公園の維持管理及び修繕を実施しました。</li> <li>※アダプトシステム:「里親制度」とも呼ばれ、地域住民団体などが「里親」として、道路や公園などを「里子」のように愛情をもって面倒を見る(清掃・美化)ため、市と役割分担について協定を結び、必要な支援を受けつつ、継続的な美化活動を実施する制度</li> <li>地域緑化事業による花苗の配布を行いました。</li> <li>ワークショップ、パブリックコメント、都市計画審議会での審議を経て、平成31年3月に「佐久市緑の基本計画」を改定しました。</li> <li>平成31年3月に都市公園である佐久総合運動公園の野球場及び野球場外構施設が完成しました。</li> <li>長野県屋外広告物条例に基づく許可事務や違反指導、佐久市景観条例に基づく届出等の内容確認及び改善指導等を行いました。</li> </ul>
------------------	--

<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アダプトシステムや緑化活動への新たな団体の参加を促進する必要があります。</li> <li>計画的に佐久総合運動公園の整備を進める必要があります。</li> <li>公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の計画的な補修・更新を進める必要があります。</li> <li>潤いと安らぎを感じられる環境を創造するため、広がりのある優れた田園風景や周辺の山並みの眺望などの「原風景」を保全するとともに、「原風景」と道路や市街地などの都市の景観が調和した「新風景」を育成する必要があります。</li> </ul>
-----------	--

<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>佐久市緑の基本計画に基づき、緑地の保全と緑化を推進します。</li> <li>幅広い団体のアダプトシステムへの参加を促進します。</li> <li>佐久総合運動公園の早期完成や、市内の公園を計画的に整備します。</li> <li>公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の計画的な補修・更新を進めるとともに、適切な維持管理に努めます。</li> <li>長野県屋外広告物条例、佐久市景観条例・景観計画などに基づく規制、誘導により、「原風景」の保全を図るとともに、「原風景」と調和した「新風景」の育成を推進します。</li> </ul>
--------------	---

<p>担当課</p>	<p>公園緑地課・建築住宅課</p>
------------	--------------------

<p>審議会意見</p>	<p>アダプトシステムにおいては、市がやるべきこと、地域団体が取り組むことを明確化し、連携して取り組まれない。</p>
--------------	---

## 2 良好な地球環境の確保

### 施策名 「地球温暖化対策」

#### 施策目標の進捗状況

<p>施策目標（市民アンケートによる満足度指数）</p> <p>現状値（H28） 目標値（H33）</p> <p>3.05 → 3.06</p> <p>※H28 アンケートでは「環境保全」と聞いた。</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>2.98</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>2.98</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>2.98</td> </tr> <tr> <td>平成28年（基準値）</td> <td>3.05</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>2.98</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	2.98	平成26年	2.98	平成28年（基準値）	3.05	平成30年	2.98
年度	満足度指数											
平成24年	2.98											
平成26年	2.98											
平成28年（基準値）	3.05											
平成30年	2.98											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>地球温暖化防止に係る各種施策を展開することで、温室効果ガスの排出を抑制し、低炭素社会を構築していくことにより、満足度の上昇を目指す。</p> <p>第二次計画からの新たな施策であり、第一次では環境保全に含まれていたことから、目標値は環境保全の平成28年の3.05を基準に、微増を見込み3.06とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電システムの設置補助制度により、市民が再生可能エネルギーの活用する機会を確保しました。</li> <li>実績：平成20年度からの補助を活用した太陽光発電システムの総出力 ⇒ 平成30年度末現在で約24.03メガワット</li> <li>・広報紙において、「COOL CHOICE」に係わる記事を連載し、地球温暖化に対する意識啓発に努めました。</li> <li>・平根発電所においては、年間を通じて安定した電力の供給を行いました。また、余剰売電額も目標を大きく超えることができました。</li> </ul>											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネルギー導入の普及促進にあたっては、市民ニーズをとらえながら取組を検討する必要があります。</li> <li>・東日本大震災以降の社会情勢やエネルギー事情の変化、国の基本方針の動向を見極める中で、今後も地球温暖化防止のため、様々な団体と協働により取り組むプロジェクトの実施を検討するなど、市のエネルギー施策に取り組む必要があります。</li> </ul>											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働によるプロジェクトの実施、再生可能エネルギーの普及促進、メガソーラー発電所や平根発電所を活用した環境学習の実施などにより、地球温暖化対策に対する市民意識の高揚に努めます。</li> <li>・エネルギーの地産地消を推進するため、太陽光や木質バイオマスの適切な利用を促進します。</li> </ul>											
<p>担当課</p>	<p>環境政策課</p>											

<p>審議会意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木質バイオマスの普及については、ペレットストーブを使うことが、どう環境にいいのかわかるような形で取り組まれたい。</li> <li>・太陽光発電については、国の買取り制度の状況や、他のエネルギーと比較したときの優位性なども考慮しながら取組を推進されたい。</li> <li>・荒廃農地や山林への太陽光発電所の設置については、地域住民とのトラブルになっているものもあることから、市としても適切に誘導されたい。</li> </ul>	
--------------	--	--

### 3 快適な生活環境の創出

#### 施策名 「環境衛生」

#### 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28)      目標値 (H33)</p> <p>3.18 → 3.20</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.18</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.16</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.08</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.18</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.18</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.16	平成26年	3.08	平成28年 (基準値)	3.18	平成30年	3.18
年度	満足度指数											
平成24年	3.16											
平成26年	3.08											
平成28年 (基準値)	3.18											
平成30年	3.18											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、平成26年に下降したが、平成28年には0.1の上昇となっている。これは平成27年度に生ごみ処理機等購入費補助金の購入要件を緩和し生ごみの堆肥化を推進したことや、埋め立てごみの分別基準の見直しなどによるものと考えられる。今後もこれらのごみ処理対策を継続的に行うことにより、満足度の上昇を目指す。目標値は、5年間で+0.02を見込み3.20とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙、ホームページ、ごみカレンダー等により、ごみの減量化や分別の徹底、リサイクルについての啓発を行いました。 実績:家庭系ごみの排出量 18,419t (目標18,553t) 事業系ごみの排出量 5,662t (目標4,518t)</li> <li>・家庭から発生する生ごみの堆肥化を促進するため、生ごみ処理機等の購入費用に対する補助制度を実施しました。 実績:生ごみ処理機等購入補助件数 60件</li> <li>・新クリーンセンターの施設本体建設工事は着工から1年経過し、平成30年度末時点で進捗率が15.5%となり、令和2年12月の本格稼働に向け工事の進捗を図りました。</li> </ul>											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭系・事業系とも、可燃ごみ排出量が、目標を達成できていないため、市民、事業所に対して「廃棄物の排出抑制」と「リサイクルの促進」を啓発していく必要があります。</li> <li>・新クリーンセンターの整備を通して、環境施策に関する市民の意識高揚を図る必要があります。</li> </ul>											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生ごみの水切りの徹底、雑紙の資源化、食品ロス意識向上を周知・促進することにより、家庭系可燃ごみの減量化を進めます。</li> <li>・事業系可燃ごみについては、事業者に対して可燃ごみ内の紙類の資源化の依頼等を実施することにより減量化を進めます。</li> <li>・佐久市・北佐久郡環境施設組合、平根地区新クリーンセンター・温浴施設建設対策協議会と連携し、新クリーンセンターの地元住民に対する見学会などを開催するほか、組合ホームページによる情報発信を行います。</li> </ul>											
<p>担当課</p>	<p>生活環境課・新クリーンセンター整備推進室</p>											
<p>審議会意見</p>	<p>・ごみの分別については、転入時の説明や、アパート等へのルール周知を徹底するとともに、地区の衛生委員とも連携し、区で分別の講習会をするなど、必要性や方法の周知に取り組まれない。</p>											

# 施策名 「上水道」

## 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28)      目標値 (H33)</p> <p>3.47 → 3.49</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.45</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.45</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.38</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.47</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.45</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.45	平成26年	3.38	平成28年 (基準値)	3.47	平成30年	3.45
年度	満足度指数											
平成24年	3.45											
平成26年	3.38											
平成28年 (基準値)	3.47											
平成30年	3.45											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、非常に高い値で横ばい傾向である。これは、生活に欠かすことのできない水道水のほとんどが地下水と湧水を水源としており、水源保全地域の指定等を行うなど、関係団体等により良質な水の安定供給が図られていることによると考えられる。今後も水資源の保全に向けた取組、水資源の有限性や水の貴重さをより啓発していくことで、市民満足度の維持、上昇を目指す。目標値は、既に高い値となっているため微増を見込み3.49とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水源地を保有する市町を含む近隣自治体等と連携することにより、水の安定供給の確保に努めました。</li> <li>・外部評価委員会の評価結果に基づき、平成25年度から臼田地区の簡易給水施設の維持管理業務を民間の水道設備業者に委託したことにより、職員の人件費削減や水の安定供給が図られました。</li> <li>・佐久市が事務局となっている「水資源保全全国自治体連絡会」の各種会議及びシンポジウム等を開催しました。</li> </ul>											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、臼田地区の各施設の老朽化に伴う修繕工事が増加するとともに、受益者が高齢化により減少することが予測されることから、コスト削減や受益者負担のあり方を含め、将来的な課題の検討を進める必要があります。</li> <li>・水資源を次代に継承していくため、水源地地域の適正な土地利用が図られるよう、水源地の保全活動を継続していく必要があります。</li> </ul>											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給水施設を適切に管理し、施設の計画的な改修を検討しながら、安心安全な安定した水の供給を図っていきます。</li> <li>・水資源保全全国自治体連絡会を通じ、水資源保全に向けた啓発活動及び国に対する提言等の取組を行います。</li> </ul>											
<p>担当課</p>	<p>環境政策課</p>											
<p>審議会意見</p>	<p>・今後も引き続き施策の充実に取り組まれない。</p>											

# 施策名 「下水道」

## 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28)      目標値 (H33)</p> <p>3.42 → 3.47</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.38</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.37</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.31</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.42</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.38</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.37	平成26年	3.31	平成28年 (基準値)	3.42	平成30年	3.38
年度	満足度指数											
平成24年	3.37											
平成26年	3.31											
平成28年 (基準値)	3.42											
平成30年	3.38											
<p>目標設置根拠</p> <p>満足度指数は、非常に高い値で横ばい傾向である。今後も水洗化の推進を図るとともに、下水道の健全経営の推進を図ることにより、満足度の上昇を目指す。目標値は、平成24年から28年の4年間で+0.05していることから、年+0.01を見込み3.47とする。</p>												

<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚水管渠整備を計画的に行いました。また、長寿命化計画等に基づいた施設の改築更新を行い、処理機能の保全を図りました。</li> <li>・長寿命化計画に続き、公共下水道及び特定環境保全公共下水道のストックマネジメント計画を策定しました。</li> <li>・第1次統廃合計画による農業集落排水施設の公共下水道への接続を行いました。</li> <li>・処理施設の安定した稼働のため適切に維持管理を行いました。</li> <li>・浅科・望月地区を中心に戸別訪問を実施し、未水洗化世帯の下水道への接続を促進しました。実績:年度末水洗化率 93.6%</li> </ul>
------------------	---

<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道施設等の老朽化が進み、維持管理費に加え施設の改築及び更新が必要になってきている反面、人口減少に伴う使用料の減少、国などの補助金の減少等が見込まれるため、安定した経営のための財源を確保していく必要があります。</li> <li>・快適で衛生的な生活環境を提供するため、未水洗世帯への対応策を強化し、水洗化を促進する必要があります。</li> </ul>
-----------	--

<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固定資産管理状況から、施設更新のための必要額及び時期を見極め、資金計画を立て安定した経営を行います。</li> <li>・第2次統廃合計画の策定を行い、公共下水道への統廃合を進め、効率的な運営を行います。</li> <li>・ストックマネジメント計画による公共下水道、特定環境保全公共下水道の維持管理、更新工事を行います。また、農業集落排水処理施設のうち統廃合の対象でない処理区の施設について、最適整備構想を策定します。</li> <li>・水洗化促進策として、引き続き未水洗化世帯への戸別訪問を推進します。</li> </ul>
--------------	---

<p>担当課</p>	<p>下水道課</p>
------------	-------------

<p>審議会意見</p>	<p>・今後も引き続き施策の充実に取り組まれない。</p>
--------------	-------------------------------



## 第6章 暮らしを守る安心と安全のまちづくり

激甚化する自然災害への不安や多様化する社会不安を解消し、住む場所や暮らし方にかかわらず、誰もが安心して住み続けることのできる安全なまちづくりを目指します。

### 施策名 「防災」

#### 施策目標の進捗状況

<p>施策目標（市民アンケートによる満足度指数）</p> <p>現状値（H28） 3.26 → 目標値（H33） 3.36</p>	<p>H30 満足度指数</p> <p>3.25</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.13</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.25</td> </tr> <tr> <td>平成28年（基準値）</td> <td>3.26</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.25</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.13	平成26年	3.25	平成28年（基準値）	3.26	平成30年	3.25
年度	満足度指数											
平成24年	3.13											
平成26年	3.25											
平成28年（基準値）	3.26											
平成30年	3.25											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、上昇傾向にある。 今後も出前講座や自主防災組織の訓練への参加等を行い、防災体制の強化や、市民の防災意識の高揚を促進することにより、満足度の上昇を目指す。 目標値は年+0.02を見込み3.36とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災行政無線の新設及び移設や、雨量観測システムの追加設置による防災情報システムの充実を図りました。</li> <li>・防災に関する出前講座を56回開催し、防災意識の高揚や地域ぐるみの防災体制の確立を促進しました。 実績：出前講座参加者数 7,301人（H29年度41回開催し、7,154人の参加）</li> <li>・区と地域の消防団との災害時の初動対応の連携を図ることを目的とした「さくの絆」作戦について、消防団班長263名に取組の説明を行いました。</li> <li>・全国瞬時警報システム（Jアラート）新型受信機の更新を図りました。</li> <li>・防災対策として、河川関係の区要望について工事を実施しました。 実績：河川関係区要望 41件 内17件（41.5%）について工事を実施</li> </ul>											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正確な情報伝達を活用するため、防災行政無線など各種防災情報システムの充実を図る必要があります。</li> <li>・地域の防災意識の高揚を促進するとともに、自主防災組織のリーダー的な役割を担う防災士を育成する必要があります。</li> <li>・河川・局地的な集中豪雨に備えるため、計画的に排水路の整備などを進めていく必要があります。</li> </ul>											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災行政無線更新などによる防災情報システムの充実を図ります。</li> <li>・市防災備蓄資機材の計画的購入により、災害時における市民生活の安全を図ります。</li> <li>・地域防災力を高めるため、防災士の資格取得や出前講座、防災訓練の推進を図ります。</li> <li>・減災に繋げるため、「さくの絆」作戦の推進を図ります。</li> <li>・被害の未然防止のため、区及び関係機関と連携し、河川や水路等の改修を推進します。</li> </ul>											
<p>担当課</p>	<p>危機管理課・土木課</p>											
<p>審議会意見</p>	<p>・今後も引き続き施策の充実に取り組まれない。</p>											

# 施策名 「消防・救急」

## 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28)      目標値 (H33)</p> <p>3.52 → 3.53</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.58</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.40</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.39</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.52</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.58</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.40	平成26年	3.39	平成28年 (基準値)	3.52	平成30年	3.58
年度	満足度指数											
平成24年	3.40											
平成26年	3.39											
平成28年 (基準値)	3.52											
平成30年	3.58											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、非常に高い値で平成28年にはさらに上昇している。これは、佐久消防署、北部消防署の建設及び高機能司令センターの稼働により、広域消防体制の強化が図られたことによると考えられる。</p> <p>今後も計画的に消防団の装備などを充実させるとともに、火災予防のための防火訓練や広報活動により、市民の防火意識の高揚を図ることで、高い満足度の維持を目指す。</p> <p>目標値は、微増を見込み3.53とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団活動の強化のため、機能別団員制度*の活用を推進しました。 ※機能別団員制度: 能力や事情に応じて特定の活動のみ参加する消防団員(イベント等で広報活動を行う防火広報団員、救命講習などの補助を行う学生団員、区や地域との連携を図る消防団協力員がいます。)</li> <li>消防団員が活動しやすい環境を整備するため、消防団協力事業所制度を推進しました。 実績: 事業所数 119事業所</li> <li>消防団の装備や施設、小型動力ポンプ付軽積載車等を整備しました。 実績: 小型動力ポンプ付積載車 2台(地区名 御馬寄、中原) 小型動力ポンプ 5台(地区名 小田井、太田部、式部、長者原、協東)</li> </ul>											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災拠点施設のハード面での整備は計画的に進んでいますが、消防団員の確保(平成30年度は1,819人: 条例定数1,842人)が課題となっています。</li> <li>火災予防のため、防火意識の向上を図る必要があります。</li> </ul>											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>成人式等若者の集まるイベントにおいて、消防団員の勧誘活動を行うとともに、消防団事業の見直しを行い、負担軽減を図ることで、より活動しやすい環境を整え、加入促進を図ります。</li> <li>機能別団員制度に活用により、女性消防団員を含めた幅広い層からの消防団員の加入を促進します。</li> <li>消防団協力事業所制度を推進することにより、消防団員がより活動しやすい環境を整備します。</li> <li>消防団の装備や施設の計画的な整備・更新を推進します。</li> <li>広報活動の実施により、市民や事業所の防火意識の高揚を図ります。</li> </ul>											
<p>担当課</p>	<p>危機管理課</p>											

<p>審議会意見</p>	<p>火災の発生時には、地域の方にも発生個所を伝えることで被害の拡大などを防げる場合もあることから、既設の有線放送などを活用した情報の伝達を検討されたい。</p>
--------------	---

# 施策名 「交通安全」

## 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28)      目標値 (H33)</p> <p>3.16 → 3.20</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.16</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.16</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.07</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.16</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.16</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.16	平成26年	3.07	平成28年 (基準値)	3.16	平成30年	3.16
年度	満足度指数											
平成24年	3.16											
平成26年	3.07											
平成28年 (基準値)	3.16											
平成30年	3.16											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、平成26年に下降が見られたがほぼ横ばい傾向にある。          今後は、高齢化社会が進展する中で、引き続き高齢者交通安全教室等を重点とした交通安全対策を推進し、より安全な交通環境を確立することにより、満足度の上昇を目指す。          目標値は、平成26年からの上昇傾向の継続を見込み3.20とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校、老人クラブ等において交通安全教室を開催しました。また、交通安全協会等の協力により夜間の交通安全について学ぶナイトスクール等を実施しました。              実績:交通安全教室等実施回数 73回(参加者12,454人)</li> <li>佐久市内で交通死亡事故が連続して発生したため、平成31年2月22日から同年5月10日まで「交通死亡事故多発非常事態宣言」を発令しました。</li> <li>交通安全施設関係の区要望について工事を実施しました。              実績:交通安全施設関係区要望 197件 内127件(64.5%)について工事を実施</li> </ul>											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者が加害者となる事故を防止するため、免許の自主返納を促進する必要があります。</li> <li>飲酒運転の根絶を目指し、積極的な意識啓発の推進を行う必要があります。</li> <li>子どもに対する交通安全教育の徹底を行う必要があります。</li> <li>高速交通網の延長などに伴う交通環境や、交通実態の変化に的確に対応した交通安全施設の整備を進める必要があります。</li> </ul>											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者や子どもを対象とした交通安全教室の開催を推進します。</li> <li>交通安全運動期間中の交通指導所の開設、交通安全市民大会の開催、夜光反射材等の交通安全啓発品の配布等により、交通安全意識の啓発に努めます。</li> <li>交通安全意識の高揚のため、交通指導員による街頭啓発や、飲酒運転根絶に向けた啓発を推進します。</li> <li>交通事故の多発箇所を点検するとともに、交通安全施設への区要望などを踏まえ、事故防止に効果的な交通安全施設の設置を推進します。</li> </ul>											
<p>担当課</p>	<p>生活環境課・土木課</p>											
<p>審議会意見</p>	<p>シートベルトの着用の徹底など、交通安全意識の高揚のため引き続き啓発活動に取り組まれない。</p>											

# 施策名 「防犯」

## 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28)      目標値 (H33)</p> <p><b>3.10 → 3.13</b></p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p><b>3.13</b></p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.07</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.05</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.10</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.13</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.07	平成26年	3.05	平成28年 (基準値)	3.10	平成30年	3.13
年度	満足度指数											
平成24年	3.07											
平成26年	3.05											
平成28年 (基準値)	3.10											
平成30年	3.13											
<p><b>目標設置根拠</b></p>												
<p>満足度指数は、平均値より高くほぼ横ばい傾向にある。これは、刑法犯認知件数が減少傾向にあり、今までの取組に一定の効果があったことによると考えられる。</p> <p>しかしながら、近年は特殊詐欺に対する取組が特に重要になっており、現在、特殊詐欺撲滅強化運動期間を設け様々な取組を展開している。そのような取組も含め今後も関係機関と連携し施策の展開を図ることで満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、平成24年から平成28年まで0.03上昇していることから、5年間で+0.03を見込み3.13とする。</p>												

<p><b>主な施策の進捗状況</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犯罪を未然に防ぐため、FMさくだいらに出演する等の広報活動などにより、防犯意識の高揚を図りました。</li> <li>・警察からの依頼に基づき、特殊詐欺等に関する注意喚起のための放送を防災無線で行いました。</li> <li>・各地区の防犯協会・指導員会等による佐久平駅等でのチラシ配布や、夏祭り等会場パトロール、年末特別警戒等の防犯活動を行いました。</li> <li>・各地区防犯協会の活動への交付金の交付により、防犯体制の強化を促進しました。</li> <li>・防犯施設の整備として、区長要望による防犯灯の新設・修繕を行うとともに、市内防犯灯の全灯LED化を実施しました。</li> </ul>
<p><b>課題</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手口が巧妙化する特殊詐欺や高齢者・女性・青少年を狙った犯罪が社会問題化しています。</li> <li>・人口減少や都市化が進む中、地域内でのつながりの希薄化が進んでいることから、地域ぐるみの防犯体制を強化する必要があります。</li> <li>・まちの変化に合わせ必要な個所への防犯灯の設置を進める必要があります。</li> </ul>
<p><b>今後の方針</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯意識の高揚、防犯体制・活動の強化のため、関係機関との連携を更に深める取組を推進します。</li> <li>・犯罪による被害等を未然に防止するため、各地域の団体に組織される防犯協会による広報活動、地域防犯活動を促進します。</li> <li>・防犯施設の新設・修繕を適時実施します。</li> </ul>
<p><b>担当課</b></p>	<p>総務課</p>

<p><b>審議会意見</b></p>	<p>・不審者情報などが多くなっていることから、警察への巡回強化の要請や、防犯カメラの設置の検討を行うなど、防犯体制の強化を推進されたい。</p>
---------------------	---

# 施策名 「消費生活」

## 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28)      目標値 (H33)</p> <p>3.10 → 3.15</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.04</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.04</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.09</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.10</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.04</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.04	平成26年	3.09	平成28年 (基準値)	3.10	平成30年	3.04
年度	満足度指数											
平成24年	3.04											
平成26年	3.09											
平成28年 (基準値)	3.10											
平成30年	3.04											
<p>目標設置根拠</p> <p>満足度指数は、上昇傾向にある。 今後も専門の相談員を配置した消費生活センターにおける的確な相談業務の推進を図るとともに、継続的な消費者被害防止等の広報啓発による意識の向上を図り、満足度の上昇を目指す。 目標値は、平成24年から28年までに0.06上昇していることから、年+0.01を見込み3.15とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者意識の高揚のため、広報紙への掲載など啓発周知活動を実施しました。</li> <li>・街頭における啓発指導や高齢者対象の講習会の開催により、消費生活のトラブルに関する知識の普及を図りました。 実績: 高齢者対象の講習会開催回数 20回(参加者数500人)</li> <li>・佐久市消費生活センター相談員による消費者相談を行いました。 実績: 相談件数 379件</li> <li>・食品衛生協会の補助金を交付し、協会の食品衛生管理の徹底、食中毒の発生の防止を促進しました。</li> </ul>											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費生活相談では、相談内容が多様化、複雑化していることから、相談員のスキルアップと、有資格相談員の増員を検討する必要があります。</li> <li>・消費者保護を推進するため、佐久市消費生活センターの周知に努める必要があります。</li> <li>・食中毒の防止は、市民の食生活に直接影響する問題であり、市としても、市民の社会生活の安全を確保する観点から、個々の事業者が積極的に食中毒防止に努めるよう啓発を行う必要があります。</li> </ul>											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が被害者となる消費者トラブルが多く発生していることから、高齢者福祉関係機関との連携による被害防止の啓発に努めます。</li> <li>・警察など関係機関との協力体制の構築を推進します。</li> <li>・今後、より相談事案が多様化、複雑化すると考えられるため、市職員が相談員の資格を取るなど、相談機能を充実させるとともに、啓発活動を強化し、被害防止に努めます。</li> <li>・研修会に参加するなど、消費生活相談員のスキルアップに努めます。</li> <li>・食品衛生協会への補助金の交付を継続し、協会の食中毒防止に対する意識の向上を促進します。</li> </ul>											
<p>担当課</p>	<p>生活環境課・環境政策課</p>											

<p>審議会意見</p>	<p>・消費者トラブルは非常に多様化し、増加傾向にあることから、身近な相談窓口となる佐久市消費生活センターの周知に努められたい。</p>
--------------	--

## 第7章 ひとと地域の力が生きる協働と交流のまちづくり

市民ニーズや行政の果たすべき役割が多様化する中で、市民協働や民間活力を積極的に活用し、市民、地域、行政が一体となって、満足できる政策を考え、進める、ひとの力が生きるまちづくりを目指します。

人口減少・高齢化に伴い、より限られた財源で必要な施策を実施するため、「選択と集中」による計画的・効率的な行政経営を実現するまちづくりを目指します。

高速交通網の結節点であることやさらなる延長があることによる優位性といった地域の特徴を生かすとともに、世界を視野に入れたさらなる交流、結びつきを拡大することにより、多くの人がまちに集う、それぞれの地域の力が生きるまちづくりを目指します。

### 1 市民の力が生きる地域社会の実現

#### 施策名 「市民協働・参加」

##### 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28)      目標値 (H33)</p> <p><b>3.10</b> → <b>3.15</b></p> <p>※H28 アンケートでは「協働のまちづくり」と聞いた。</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p><b>3.10</b></p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.10</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.15</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.10</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.10</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.10	平成26年	3.15	平成28年 (基準値)	3.10	平成30年	3.10
年度	満足度指数											
平成24年	3.10											
平成26年	3.15											
平成28年 (基準値)	3.10											
平成30年	3.10											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>市民満足度は、平均値より高いがほぼ横ばい傾向にある。今後もより一層協働に関する情報発信に努め、市民とともに地域課題解決に取り組む協働・参加のまちづくりを進めることにより、目標値の上昇を目指す。目標値は、平成26年水準までの回復を目指し3.15とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動サポートセンターを拠点とした協働のまちづくりの推進及び佐久市まちづくり活動支援金による活動の支援を行いました。 実績: 市民活動サポートセンター登録団体数 194団体 佐久市まちづくり活動支援金交付件数 18件</li> <li>市民参加のまちづくりのため、各種審議会の日程や会議録などの情報をホームページで公開しました。</li> <li>市広報紙や市ホームページ、SNSにより市政情報の発信をしました。</li> <li>全国の地域に密着したコミュニティFMを活用した市政情報の発信をしました。</li> <li>個人情報保護条例等の改正を行い、個人情報に係る用語の定義をより具体的に条例上で規定し、保護対象とする情報の明確化を図りました。</li> </ul>											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>佐久市まちづくり活動支援金の利用件数が減少してきていることから、内容や申請方法等の変更を検討する必要があります。</li> <li>市ホームページについて、欲しい情報になかなか辿り着けないという意見があることから、情報の提供の仕方、ページ構成等について検討する必要があります。</li> <li>情報公開(開示)を前提とした公文書の管理を推進する必要があります。</li> </ul>											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動サポートセンターを拠点とした協働のまちづくりを推進します。</li> <li>佐久市まちづくり活動支援金については、昨年行った市民活動団体アンケート結果や協働のまちづくり推進会議の委員から意見を参考に、より多くの市民活動団体に活用してもらえるよう見直しを行います。</li> <li>積極的なPRにより、佐久市まちづくり活動支援金の活用を促進します。</li> <li>多くの市民が市政に参画できるよう、各種審議会の日程や会議録などの情報をホームページで分かりやすく公開します。</li> <li>分かりやすく、きめ細やかな情報提供を行うため、市ホームページの充実を図ります。</li> <li>公文書の保存について適切な運用を図ります。</li> </ul>											
<p>担当課</p>	<p>広報情報課・総務課</p>											

<p>審議会意見</p>	<p>市民活動サポートセンターを中心に、様々な団体が連携して地域活動に取り組めるよう推進されたい。</p>
--------------	---

# 施策名 「地域コミュニティ」

## 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28)      目標値 (H33)</p> <p><b>3.08</b> → <b>3.10</b></p> <p>※H28 アンケートでは「コミュニティの育成」と聞いた。</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p><b>3.08</b></p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.05</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.05</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.08</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.08</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.05	平成26年	3.05	平成28年 (基準値)	3.08	平成30年	3.08
年度	満足度指数											
平成24年	3.05											
平成26年	3.05											
平成28年 (基準値)	3.08											
平成30年	3.08											
<p align="center"><b>目標設置根拠</b></p>												
<p>満足度指数は、緩やかではあるが上昇傾向にある。          今後は、人口減少や少子高齢化等により、地域のコミュニティ活動の低下が懸念される。また、都市化の進展とともに年々区の加入率も減少傾向にあり、共助の精神が希薄化する傾向にあることから、大幅な満足度の上昇は困難である。          目標値は、施策の展開により維持を目指し、微増の3.10とする。</p>												
<p><b>主な施策の進捗状況</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域自治組織の育成のため、区の運営や活動に対し交付金等の交付を行いました。また、区長会事務局の運営と、市政懇談会等への対応を行いました。</li> <li>・コミュニティ活動環境の充実のため、区からの申請による公共施設事業への補助金の交付を行いました。                  実績: 補助件数 38件</li> <li>・地域コミュニティの活性化を図るため、地域の団体等の受け入れ希望に基づき地域おこし協力隊員を導入しました。                  実績: 地域要望による地域おこし協力隊員数 4名(望月地域)</li> </ul>											
<p><b>課題</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動の基本である区が円滑な活動、運営ができるよう、区長会等との意見交換の場を充実していく必要があります。</li> <li>・行政依頼事項に関する区長、役員の負担軽減を検討していく必要があります。</li> <li>・地域社会への関わり方の希薄化などによる区への加入率の低下に対応する必要があります。</li> <li>・人口減少が進む中、地域課題を市民が自主的・主体的に解決するための仕組みづくりを進める必要があります。</li> </ul>											
<p><b>今後の方針</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民自治組織である区が、今後も活動しやすい環境を維持していくため、公共施設事業補助事業を継続します。</li> <li>・年4回開催の区長会理事会を中心に意見交換の場を充実させていくとともに、各種補助制度等について区への周知を図ります。</li> <li>・引き続き区への加入を促進するとともに、区の実情にあった体制づくりを支援します。</li> <li>・区や地域活動を行うボランティア団体・NPO、地域おこし協力隊等が連携して地域課題を解決する取組を推進できるよう支援します。</li> </ul>											
<p><b>担当課</b></p>	<p align="center">総務課・企画課</p>											
<p><b>審議会意見</b></p>	<p>・区への加入率は年々低下していることから、転入時に区への加入の必要性を明確に伝えるとともに、更なる加入促進策を検討されたい。</p>											

# 施策名 「行財政経営」

## 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28)      目標値 (H33)</p> <p><b>2.92</b> → <b>3.00</b></p> <p>※H28 アンケートでは「行財政」と聞いた。</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p><b>2.92</b></p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>2.84</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>2.87</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>2.92</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>2.92</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	2.84	平成26年	2.87	平成28年 (基準値)	2.92	平成30年	2.92
年度	満足度指数											
平成24年	2.84											
平成26年	2.87											
平成28年 (基準値)	2.92											
平成30年	2.92											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、上昇傾向にあり平成24年から0.08上昇している。これは、組織機構の見直しや、外部評価実施などの取組によるものと考えられる。</p> <p>今後も計画的・効率的な行財政運営を行うとともに、市民に丁寧な説明を行うことにより、さらなる満足度の上昇を目指す。</p> <p>過去4年間では、年0.02の上昇であることから、5年間で平均である3.00を目指す。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10件の事務事業について、外部評価を実施しました。</li> <li>・組織機構の見直しを実施しました(業務分担の変更に伴う係名称変更等)。</li> <li>・滞納者に対し、財産調査を行い差押え等の滞納処分を実施しました。また、長野県地方税滞納整理機構及び県東信県税事務所と連携し、滞納整理を実施しました。</li> <li>・実施計画を基本とし、人口減少に歯止めをかけ、持続的発展と自主財源の確保につながる事業へ重点的に予算を配分しました。</li> </ul> <p>実績:平成30年度健全化判断比率及び資金不足比率 実質赤字比率:数値なし 連結実質赤字比率:数値なし 実質公債費比率:0.0 将来負担比率:数値なし</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人事管理を実施するとともに、職員能力発揮のため一般研修、専門研修及び職場研修(OJT)を実施しました。</li> <li>・建設工事や建設コンサルタントなどの業務の入札については、原則電子入札で実施し、入札手続きの効率化や事務負担の軽減を図りました。</li> <li>・「地元企業優先発注等に係る実施方針」に基づき、市外発注等の検証を行い、地元企業への優先発注や市内製品の優先活用の推進を図りました。</li> </ul>											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務事業及び施策評価により、各事業、施策の進捗のチェックと見直しなどを行う必要があります。</li> <li>・公共施設の維持管理経費の負担軽減を図るため、民営化などの導入を推進する手法について検討する必要があります。</li> <li>・収税業務の効率化のため、催告書発送業務や電話催告業務(コールセンター)等の民間委託について、調査検討する必要があります。</li> <li>・合併特例措置の段階的な縮減に伴い財源確保や適正な基金活用を行っていく必要があります。</li> <li>・人件費の抑制のための事務事業の効率化として、外部委託・指定管理者制度への移行や職員数の削減を進めてきましたが、複雑・多様化する行政需要に対応するため、組織機構の見直しや職員個々の能力を高めることにより、行政サービスの質の維持、向上に取り組む必要があります。</li> <li>・公正・適正な入札及び契約事務を遂行することにより、市発注の建設工事及び物品購入等に対する市民の理解と信頼を得ることが求められています。</li> </ul>											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策評価による総合計画の進捗管理を行い、その結果を実施計画等へ反映します。</li> <li>・外部評価による事務事業の見直しを行います。</li> <li>・納税者の利便性と収納率向上を図るため、新たな収納方法を調査するとともに、収税業務の一部民間委託の検討を行います。</li> <li>・引き続き、財政の弾力性確保と安定的な財政運営を目指します。</li> <li>・人事管理と併せて組織機構管理を実施し、その組織機構の改革に沿った定員管理を行います。また、最小の人員で組織運営を行うために、職員の一人ひとりの資質向上を図ります。</li> <li>・透明性、公平性、競争性のある入札制度に向けて、必要に応じ入札制度の見直しを行います。</li> </ul>											
<p>担当課</p>	<p>総務課・財政課・税務課・収税課・企画課・契約課・市民課・会計課</p>											

<p>審議会意見</p>	<p>・今後も引き続き施策の充実に取り組まれない。</p>
--------------	-------------------------------



# 施策名 「高度情報通信ネットワーク」

## 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28)      目標値 (H33)</p> <p>3.10 → 3.20</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.05</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.01</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.02</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.10</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.05</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.01	平成26年	3.02	平成28年 (基準値)	3.10	平成30年	3.05
年度	満足度指数											
平成24年	3.01											
平成26年	3.02											
平成28年 (基準値)	3.10											
平成30年	3.05											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、上昇傾向にある。          今後も、情報通信ネットワークを活用した住民サービスは、高度化かつ多様化が進むと予想されることから、効果的に情報技術を活用したサービスを導入することにより、満足度の上昇を目指す。          目標値は、過去4年間で0.09上昇していることから、年+0.02を見込み3.20とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度は、5箇所の公共施設に公衆無線LANを整備しました。              実績: 布施温泉、穂の香乃湯、浅科多目的屋内運動場、中央隣保館、望月人権文化センター</li> <li>佐久情報センターにおいて、ICTフェスタを実施しました。              実績: 8月18日ロボット制作教室、11月4、11、18、25プログラミング教室              延べ参加者数 100人</li> <li>ながの電子申請・届出システム<sup>*</sup>の申請可能項目数及び利用件数の増加を図りました。              実績: 延べ申請件数 2,571件</li> <li><sup>*</sup>ながの電子申請・届出システム: 市の窓口で行っている申請や届出が、インターネットを使って行えるシステム。長野県と自治体が共同で導入し長野県市町村自治振興組合が運営(佐久市では、パパママ教室の申し込みや、家屋滅失届などが対象)。</li> </ul>											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や来訪者が市内で気軽に情報収集できるような環境整備を拡充していく必要があります。</li> <li>情報通信技術の進歩等により、佐久情報センターに求められる役割等も変化してきており、今後の施設の在り方について検討する必要があります。</li> <li>市民サービス向上のため、申請・届出に限らず様々なサービスの電子化について検討していく必要があります。</li> </ul>											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公衆無線LAN環境を拡充するとともに、佐久情報センターの在り方について、指定管理者や庁内他部署と連携して検討を進めます。</li> <li>電算システムのセキュリティを確保しつつ安定的な稼働を維持するとともに、電子申請が出来る項目数や利用者の増加を図り、市民の利便性やサービスの向上を図ります。</li> </ul>											
<p>担当課</p>	<p>広報情報課</p>											

<p>審議会意見</p>	<p>今後も引き続き施策の充実に取り組まれない。</p>
--------------	------------------------------

## 2 地域のが生きる交流と連携の推進

### 施策名 「地域間交流・国際交流」

#### 施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 3.07 → 目標値 (H33) 3.10</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.05</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.01</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.04</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.07</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.05</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.01	平成26年	3.04	平成28年 (基準値)	3.07	平成30年	3.05
年度	満足度指数											
平成24年	3.01											
平成26年	3.04											
平成28年 (基準値)	3.07											
平成30年	3.05											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、平均値付近ではあるが上昇傾向にある。          今後も交流人口・定住人口の創出に取り組むとともに、在住する外国人にとっても暮らしやすいまちづくりに向けた施策を展開していくことにより、満足度の上昇を目指す。          目標値は5年間で0.03ポイントの継続した上昇を見込み3.10とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住定住人口の増加のため、都内で移住セミナーを開催するとともに、移住お試しツアーを実施しました。</li> <li>・交流人口の創出や移住定住人口の増加のため、佐久市シティプロモーション基本方針を策定しました。</li> <li>・2020年東京オリンピック・パラリンピックの「ホストタウン」であるエストニア共和国との交流を推進するため、子どもたちの交流やイベントを開催しました。</li> <li>・異文化理解と多文化共生の推進を図るため、国際交流フェスティバルや国際交流サロンを開催しました。</li> </ul> <p>実績：国際交流フェスティバル延べ来場者数 約3,300人          国際交流サロン延べ参加者数 338人</p>											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家バンクへの登録件数が減少しているため、利用可能な空き家の掘り起こしに取り組む必要があります。</li> <li>空き家バンク新規登録件数の推移：平成27年度 70件 / 平成28年度 56件              平成29年度 28件 / 平成30年度 28件</li> <li>・交流人口の創出、移住定住人口の増加には、本市の卓越性を積極的かつ適切に発信するとともに、シビックプライドの醸成を図り、シティプロモーションを行っていく必要があります。</li> <li>・佐久市姉妹都市友好都市親善協会や国際交流団体との連携及び推進体制の整備を行う必要があります。</li> <li>・多文化共生社会の推進のため、国際性豊かな人材育成と異文化理解を深める場を創出する必要があります。</li> </ul>											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定住人口の創出のため、移住者のニーズを把握し、佐久市の魅力をより知ってもらえるよう、移住セミナー等の内容の充実に努めます。</li> <li>・関係団体とも連携し、利用可能な空き家の掘り起こしを行い、空き家バンク登録物件の充実に努めます。</li> <li>・佐久市シティプロモーション基本方針に基づき、プロモーションを展開します。</li> <li>・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた「ホストタウン」としての交流を推進します。</li> <li>・国際交流フェスティバル等により、多文化交流の場を提供し、異文化理解と多文化共生を推進します。</li> </ul>											
<p>担当課</p>	<p>移住交流推進課</p>											

<p>審議会意見</p>	<p>・今後も引き続き施策の充実に取り組まれない。</p>
--------------	-------------------------------

# 施策名 「広域連携」

## 施策目標の進捗状況

<p>施策目標（市民アンケートによる満足度指数）</p> <p>現状値（H28）      目標値（H33）</p> <p>3.24 → 3.24</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.17</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.04</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.07</td> </tr> <tr> <td>平成28年（基準値）</td> <td>3.24</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.17</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.04	平成26年	3.07	平成28年（基準値）	3.24	平成30年	3.17
年度	満足度指数											
平成24年	3.04											
平成26年	3.07											
平成28年（基準値）	3.24											
平成30年	3.17											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、広域連合や一部事務組合による事務の共同処理に取り組むほか、佐久地域定住自立圏では主にソフト事業を中心に連携強化を図るなど市町村間連携を強力に進めたため、上昇基調で順調に推移したと考えられる。</p> <p>今後も人口減少社会の下で、市町村間の役割分担や連携がこれまで以上に重要となることから、引き続き他の市町村との協力・連携を進めることで、満足度の維持を目指す。</p>												

<p>主な施策 の 進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐久広域連合の構成市町村として火葬場、消防施設といった共同処理事務を通して、広域行政を推進しました。</li> <li>・平成29年度からスタートした第二次佐久地域定住自立圏※共生ビジョンに基づき、12分野21項目の取組を関係市町村と連携・協力しながら推進しました。 実績：佐久地域休日小児科急病診療センター運営委託事業、病児・病後児保育の広域化事業等</li> <li>※佐久地域定住自立圏：佐久市を中心市とし、小諸市、東御市、小海町、佐久穂町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村、軽井沢町、御代田町、立科町と協定で締結した圏域に必要な生活機能の確保と、圏域全体の活性化を図る事業。</li> </ul>
----------------------------	---

<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域的な運営の方が、経済的かつ効果的なサービス提供が可能となる事業もあるため、各市町村が保有する様々な資源を生かした広域連携を進める必要があります。</li> <li>・佐久地域定住自立圏の目的である圏域の人口確保と地域の活性化のため、各市町村間で連携が可能な事業を精査し、より効果的な取組を企画する必要があります。</li> </ul>
-----------	---

<p>今後の 方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐久広域連合広域計画に基づき、佐久広域の市町村が一体となった、活力ある地域づくりを促進します。</li> <li>・佐久地域定住自立圏共生ビジョンに定める取組を検証することにより、社会情勢の変化等に対応した、圏域にとって効果的な取組を推進します。</li> </ul>
-------------------	--

<p>担当課</p>	<p>企画課</p>
------------	------------

<p>審議会 意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も引き続き施策の充実に取り組まれない。</li> </ul>
-------------------	--

## 施策評価全体に対する総合計画審議会からの意見

### 第2部会

満足度指数について	・満足度指数の算定の根拠となるアンケート調査については、対象となる方の年齢、性別、地域によって傾向が異なると考えられるので、施策の企画立案においては、そういった性質別の分析も踏まえ取り組まれたい。
-----------	--

### 第3部会

全体の記載に方法について	・施策全体を捉えた書き方となっているが、市民に公表されることを踏まえ、具体的な取組にもなるべく触れる形で分かりやすい記載にされたい。
--------------	--